

二〇〇三年アトランタ法会での説法

李洪志

二〇〇三年十一月二十九日

皆さん、こんにちは！（弟子たち：師父、こんにちは！） 私が参加する法会もあれば、参加しないかもしれない法会もあります。皆さんご存知のように、現在大法弟子はますます成熟するようになりました。法を実証する中で、神の道のりにおいて、皆さんはどのように行うべきかを分かるようになりました。この時期、私の話が少なければ少ないほど、皆さんにとっては良いかもしれません。なぜこのように言うのでしょうか？ この期間は皆さんにそれぞれ自らを鍛え、威徳を築き上げる機会を与えているからです。ですから、何かがあったら、皆さんが自分で考え、自分の果位を証明する中で自らの道を切り開くことがいつまで経ってもできるようにならない、ということをおはしたくありません。いつも師父に導かれるままで、法を実証する中での具体的な事をどのように行うかも私が教えなければならぬのであれば、それではいけません。大法弟子の圓滿成就は、果位、次元において、低くなく、すなわち皆さんが背負っている未来の衆生に対する責任は大きいのです。皆さんがそれほどの威徳を備えず、自らの道を切り開くことができず、独り立ちして何かを行うときにそれをどのように行うべきかを知らなければ、それではいけません。ですから、この期間は私が意図的に皆さんにこのような機会を与えており、それによって皆さんが鍛えられ成熟するようにしたのです。

実は私も静かに皆さんを観察しており、見ています。皆さんが修煉の中にいるので、いつも常人の心があり、それがあから、修煉することができます。常人の心があるから、その心が現れてきます。皆さんが法を実証する如何なることを行っている時も、皆と一緒に何かをする時や、一人で何かをする時も、自分でそれを考え、難しい問題を解決する方法を考えています。人間の観念を用いて考えるのか、それとも修煉者の正念を用いて考えるのかによって、事の結果が違います。協力しあって何かを行う時も同じです。一緒に何かについて話し合う時、常人の心が現れることもあり、ひいては意見を戦わすことさえあります。もちろん、常人の心があるから引き起こされたことです。しかし、中に良い一面もあります。論争の中で執着や足りないところに気づくことができるからです。もし、法を第一にし、自我を切り捨て、皆正念をもって問題を解決することができれば、すぐ結論を出すことができ、法を実証する中で正しく行うこともできます。実は今までの数年と比べて、今はとても良くなりました。皆さん

んは確かに成熟しました。今日は多くのことについてお話したくはありませんが、主に真相を伝えることについてお話します。

真相を伝えることを言うと、真相を伝える目的が他でもなく、邪悪を暴露し、抑制し、それを白日の下に曝け出し、全世界の人々に邪悪の面目をはっきりと認識してもらい、邪悪が隠れるところがないようにするためである、と多くの学習者は思っています。これは皆さんが行うべきことですが、最も主たる目的ではありません。真相を伝える最も主たる目的は衆生を救い済度することです。

大法弟子の誰もが未来に担う責任は非常に大きいものです。多くの衆生は皆さんの救い済度を必要とし、多くの生命は皆さんの救いを必要とし、さらに皆さんはこの間に自分の果位の中に必要な全てと計り知れない衆生を圓容し、圓満させなければなりません。皆さんの威徳と神としての全てはその中にあります。ですから、私がいつも言っていますが、法を実証する中で大法弟子としてやるべき三つのことをしっかり行うことができれば、全てがその中にあります。ですから、皆さんが真相を伝える最も主たる目的は真相をしっかり伝える時に更に多くの衆生を救い済度することができ、これが第一位のことであり、皆さんが真相を伝える本当の目的です。

今回の迫害が旧勢力にどのように按排されても、この世の悪人がどのように悪事を働いても、各空間の邪悪生命がどのように気が狂って大法弟子を迫害し、多くの世の人々を害しても、皆さん考えたことがあるのでしょうか、それらが大法を破壊することができるのでしょうか？ それは全くあり得ないことです。皆さんも既に目にしましたが、歴史上最も邪悪な四年間の迫害を経て、大法弟子はこの迫害の中で鍛えられ、成熟し、認識が明確となり、冷静になっており、ますます理性的になり、正念も更に強くなり、位に戻る日が近づいてきたほか、まだ何があるのでしょうか？ こういうことではありませんか？ それらの迫害され亡くなった大法弟子は圓満成就したわけではありませんか？ 迫害の中で一部の人が修煉をやめました、続けられない人がふるいだされ、残った人が金なのです。

もちろん、一人の生命にとって、私の大法を学んだら、私はその人の面倒を見て、彼を大法弟子、学習者として対処しなければなりません。本人がどうしても大法に入ることができなければ、それはその人自身のことです。ですから、皆さんはこのことをはっきりと認識しなければなりません。この迫害全てや、旧勢力が按排した全てが、実はずいぶん昔から既に私が法を正すということの中に見込まれたことなので、それらは法を破壊することができません。今回の迫害は私が認めないものであり、これは

揺るぎないことです。私の法を聞いた生命、私の大法の中で修煉している人は、それらに思うままに左右され、ひいては殺されても良いのでしょうか？ この全ては将来それらが償わなければなりません。もちろん、他の要素もあります。本当に正しく行うことができる学習者に対して、それらも手を加える勇氣はありません。旧勢力の按排を否定し、正念の強い学習者に対して、それらは動かすことができません。つまり、この期間中に、いくら迫害されても、大法弟子は心が正しく、正念が充分であり、理性的に、冷静にこの全てを認識することができれば、多くの損失を避けることができます。

皆さんがはっきりと認識しておかなければならないのは、大法弟子の修煉が人間の中から抜け出すことであり、この古い宇宙、および尽きることのない、数え切れないほどの衆生によって構成された各種の要素に束縛された古い穹体から抜け出し、穹体の成、住、壊、滅の最後の最後の環境から脱皮するということです。誰が抜け出すことができるのでしょうか？ その全てを振り捨て、本当に未来に入るのは確かに難しいことです。実は今回の迫害の中で、皆さんが修煉の中でぶつかった厄介なことは、人類のこのところでの現れであり、実は常人のこの環境の外で世の人々には見えない他の空間では、それは更に激しく、人々を驚愕させるほどの巨大な解体と組み立て直す過程です。全宇宙の衆生はこのことを注視しており、計り知れないほどの神もこのことを見えています。この全ての激しい変動の中に、大法弟子が法を実証する要素も含まれています。この世で現れると、すなわち皆さんが現在行っている三つのことです。邪悪の現れについては、それは解体する前の理性を失った狂気の沙汰であり、大法弟子の圓滿成就に条件を提供しているのです。

激変の中で真相を伝えることは衆生と世の人々を救い済度する主たる方法であり、大法が皆さんに与えた智慧と巨大な能力もその中に現れてきます。皆さんが真相を伝える事の作用は必ず連鎖反応を起こします。ある人がいったん真相が分かり、それを知るようになったら、「そういうことなのか、大法はこんなに素晴らしいのだ」と思うようになります。真相が分かった人の中に修煉しようと思う人もいれば、同情してくれる人、自らの行動をもって支持してくれる人もいます。真相を伝えることによって引き起こされた反応も、人から人へ、心から心へと広く伝わっています。邪悪の要素は環境を失いつつあります。大法と正の要素は全てを覆い、全ての中を充実させています。同時に今回の迫害に対して、真相を伝えることは社会と各方面に変化をもたらし、悪人に居場所を失わせ、邪悪生命が乗じる隙がないようにしていますが、必ずそういう作用を働くことができます。皆さんが真相をしっかりと伝えることはたいしたことの無いように見えますが、その作用は巨大なのです。

実は皆さんも目にしましたが、大法弟子が真相をしっかりと伝える過程で、世の人々も変化しています。今は99年7月20日、迫害が始まった当時とは完全に違っています。世の人々が目覚めただけではなく、その他の生物と物質の要素にもこのような変化がありました。つまり、形勢は完全に変わりました。もちろん、邪悪が迫害をやめたのではなく、旧勢力が按排したそれらの要素が消滅され、ますます少なくなり、邪悪はそれほど強い力がなくなったからです。しかし、力が弱まっているとはいえ、それが存在する限り、とても邪悪で悪いのです。力が弱まって邪悪に必要な環境の要素を失った後、邪悪はそれほど多くの世の人々とその他の衆生を制御することができなくなりました。そして、世の人々、及び他の全ての生命に対する邪悪の抑制がなくなった時、皆さんは真相を伝えやすくなるのです。しっかり行うことができれば、世の人々が皆目覚め、衆生が皆目覚めるのです。衆生が皆目覚めたら、邪悪も完全に居場所を失い、これ以上はびこることができなくなります。人々は皆邪悪に反対し、邪悪を孤立させ、邪悪が何かを行おうとしてもそれを行うことができず、誰もそれを聞き入れないのです。現在はそういう傾向です。これは衆生を救い済度することによってもたらされた変化です。

実は今までずっと皆さんにお話してきましたが、修煉者として、昔だったら世の人々に何を言われようが全く気にしていませんでした。良く言われても悪く言われても、それは人間が言ったことであり、神が言ったことではありません。実は歴史の中で多く人は世の人々に非常に悪く評価され、ひいては教科書や歴史の物語にもそのように書かれています。その人は神になったかもしれません。世の人々に模範人物として持ち上げられ、死後地獄に落ちた人もいます。なぜならば、人間が言っている良し悪しは人間の利益という角度から見たことです。人間の理は逆になっており、人間に良いと思われているものは本当に良いとは限りません。人間に悪いと思われているものは本当に悪いとも限りません。つまり、修煉の人は人間にどのように言われても、全く気にしていないということです。しかし、今日の法を正すことは、それとは違います。大法及び大法弟子に対して善いと思うか、または悪いと思うかによってその人の未来が決まります。現在のこの迫害の中で、特に大法弟子に対して行った迫害、邪悪がしでかしたこの弾圧は私と法を正すことを妨害しているため、今までの修煉とはやはり違います。大法弟子を迫害することは絶対に罪であり、関わった人は皆償わなければなりません。このことに参与した生命は誰でもこのことから逃れることができません。

宇宙で法が正され、皆さん考えてみてください、全宇宙は今法が正される真っ只中におり、ミクロから表面へと、絶えず突破しつつあります。歴大な天体はいくら広くても、中にどれほどの生命がいても、それが生命であろうが、生命ではなかろうが、念のあるものか否か、存在しているものか否かに関わらず、全く逃れることができません。なぜならば、未来の全ては更新され、特に世の中にいる人類、及び表面のあらゆる生命、それらは根本的に逃れることができないからです。法を正すことの中には高次元の生命まで含まれており、今法を正すことは自分と関係ないと言える神はもういません。もちろん現在誰もがこのように言う勇氣はなく、誰もこのことから逃れることができません。そのため、法を正す中で、生命がどのように行ったのか、それらに対して結末をつけなければなりません。どの生命も悪いことをしたら、消滅して終わる、というのではありません。それではいけません。消滅し尽くされる中で、行った全ての悪事を償わなければなりません。私は最大の慈悲をもって衆生に対処しています。全ての生命が歴史上いくら重い罪、大きな間違いを犯しても、私は彼らの過ちと罪を許し、彼らの罪を消すことができます。もちろん、このようにする前提は法を正す中で法を正すことを妨害していないことです。何もしなくても、私はあなたを救います。しかし、いったん法を正すことを妨害したら、淘汰されることになります。罪悪が極めて大きい人は淘汰の過程の中で行った全てを償わなければなりません。彼らがどれだけやってしまっても、その分彼らは償わなければなりません。彼らがどれだけ大きな事を行ったとしても、その分償わなければなりません。ですから、法を正すことを妨害する邪悪に関しては、彼らがどんなに邪悪であっても、彼らを待っているのは宇宙の中でかつてなかった恐ろしい結末です。その中には旧勢力も含まれており、それらが自分が大法のために働いていると思っていますが、実はそれは自分の観念で見ているのです。それらは今まで本当に自分のことをよく考えたことがなく、法を正すことと法をもって自分自身を量ったことはありません。未来がほかでもなくこの法であり、未来の衆生がこの法によって造りだされるので、この法をもって量らなければ、何をもって量るのでしょうか？

真相を伝えることがこれほど重要である以上、皆さんは今まで以上に冷静に対処しなければならず、更に理性をもって具体的に真相を伝える中で現れてきた各種の機会、やり方と方式を認識しなければなりません。このことに皆さんは気をつけなければなりません。ご存知のように、私は法を伝える時、社会の団体、社会の階層、地位の高さ、職業、職位の高さなどを見ていませんでした。私は何も見ておらず、ただ人の心だけを見ています。皆さんが真相を伝えるときもこのように行うべきです。相手を地位の高い人物として見ることで、考えの中で障碍を作ったり、相手に助けを求めにきたかのように思わないでください。実際のところ、あなたは彼を救っており、彼らに

未来を選択する機会を与えています。必ずそうなります。ですから、皆さんは衆生を救い済度することを真相を伝えることの主たる目的として見るべきです。

大法弟子が今日行った全て、社会の中で接触した全てですが、皆さんに教えますが、他でもなく皆さんが衆生を救い済度しているのです。どのような人に会っても、どの階層の人やどの職位の人であっても、ただ単に、邪悪が大法弟子を迫害しているから相手に真相を伝えるのだ、というように思わないで下さい。皆さんに教えますが、衆生を救い済度することは第一位であり、真相を伝えることは人を救う方法です。人々に真相が分かり、今回の迫害がここまで邪悪であると知るようになったら、どのように行動すべきかはもちろん人間に分かっています。そして、相手に支持を求める時、どのように行動するかはその人が未来を選択することになります。特に迫害の中で騙された人に機会を与えなくて良いのでしょうか？ このような人に真相を教えなければ、彼らは永遠に未来を失ってしまいます。

更に、偶然に出会った人、生活の中や仕事の中で出会った人に皆さんは真相を伝えなければなりません。この世ですれ違って、話ができなかった人にも慈悲を与えなければなりません。済度されるべき人、更に縁のある人を失わないでください。実は多くの大法弟子が真相を伝えるときに、「今真相を伝えに行く」と言って、まるで今は真相を伝えに行くようですが、普段は真相を伝えていないかのようです。衆生を救い済度することは皆さんの現在の生活の中の全ての出来事に含まれています。もし皆さんがみなその重要性を認識し、はっきりと認識することができれば、更に多くの衆生を救い済度することができるかもしれません。現在世の人々も徐々に目覚めつつあり、このとき真相を伝えればその作用は更に大きくなります。邪悪にとって、それらの居場所がますます小さくなります。ですから、皆さんは必ずこの問題に対してはっきりと認識しなければなりません。

また、一部の学習者は内輪の何人かだけで仲良くして、何かをする時も一緒に、私たちは仲間だといつもつまらないことを口にしたりして、大量の時間を浪費してしまいました。現在の一分一秒も非常に大事であり、この間の時間を逃してしまったら、全てとすれ違ってしまいます。歴史は二度とやってくることはありません。宇宙の歴史、三界の歴史が既にそれほど長い、久しい歳月を歩んできましたが、衆生は皆何を待っているのでしょうか？ 何のためにここで生きているのでしょうか？ 他でもなくこの数年を待っているのです！ しかし、この数年の間、生命を無駄にしており、時間を大切にしていない学習者がいます。けれども、あなたは衆生と歴史に対して大きな責任を持っています！

確かに、一部の学習者自身の認識はまだ充分明確ではなく、法を得たことは偶然なことだと思っており、私にもそれほど大きな歴史的責任があるのか、私にもそれができるのかと思っています。実は、これは聞くまでもない話です。私は法の中で既に非常に明白に説きました。私が今日伝えたこの大法は誰もが修煉することができるものではありません。なぜ多くの方が大法に入ることができないのでしょうか？ もちろん、今多くの新しい学習者が徐々に入ってきました。これは皆さんが真相をしっかりと伝えたからそういう作用がありました。真相を伝えることは万能かぎのように、旧勢力が世の人々が法を学ぶことができないように遮っていることの要素を破ったのです。皆さんが真相を伝えたからこの作用があったのです。つまり、誰もが法を得ることができるというわけではありません。この世での現れは真の中に偽があり、偽の中に真があり、他でもなく宇宙の真実が現れないように、大法弟子と世の人々との違った特殊な状態が完全に現れないようになっていきます。迷いの中で修煉するということなので、このような状態の中で修煉し、この状態から抜け出す他ありません。自らを軽視しないでください。全ての大法弟子は、この大法を修めていけば、大法弟子として行うべきことを行わなければなりません。

実は私は既に話したことがあります、この間に大法のために良いことをした常人でも、この肝心の時期だから、圓滿成就して神になるかもしれません。ましてやあなたは大法を修めており、大法弟子として行うべきことを行っており、困難な状況下でこの全てを行ったのです。表面ではたいした変化があるように見えませんが、他の空間で現れたのは人間と神の違いであり、巨大な変化があります。人間のこのところは迷いの中に封じ込まれており、真実の状態は人間のところとは全く違います。法の勉強においてついて来られなくなった大法弟子だけが、この間に精進することができず、意気消沈してしまい、ひいては時間の大切さを忘れ、時間を無駄にせず大法弟子として行うべきことを行っていません。

実は今でも法の勉強をおろそかにしている学習者がいます。法の勉強が良くできるかどうかは皆さんが圓滿成就に向かっていくための根本的な保証であり、脱皮することのできる根本的な保証でもあります。全ての生命はこの法によって造りだされたのであって、皆さんの未来も含まれています。未来の宇宙の衆生についてですが、法を正す中で多くの生命が淘汰されたので、宇宙の多くのところが空になってしまいます。しかし、永遠に空っぽのままではありません。大法は法の中からその天体に必要な全ての生命、各種の要素と物質を生み出すのです。大法は今でも必要な全ての新しい生命を造成しています。古い生命もこの法に同化したから自らを更新し、それによって

未来に入ることができたのです。ですから、如何なる生命もこの中にいます。

実は、法を正すことの全体はますます表面に向かっており、残った最後の要素は既に生命とは言えず、それが何であるかも言い表すことができません。それらを表現する言葉と概念はもうありません。しかし、全ては法を正す最後の過程にあります。実は「宇宙」と「宇宙の外」という概念で表現すれば、法を正すことは既に「宇宙の外」という概念になります。つまり、法を正すことは、今この穹体が存在できるようにしているそれらの要素にまで及んでおり、ひいては要素の要素にまで及んでいます。

このように話しても、皆さん今はまだこの状況を感じ取ることができません。しかし、大法弟子が現在法を実証する状態から、実は形勢の違いに気づくことができます。邪悪は既に維持しきれなくなりました。なぜならば、邪悪の生命、邪悪の要素が既に非常に少なくなるまで消滅され、99年7月20日の時とは比べ物にならないからです。当時の状況を私は皆さんに言い表したことがあります。草や木まで他の空間の邪悪生命に憑かれており、歩くときに枝にひっぱたかれ、草に足を取られる程でした。空気の中まで邪悪が充満していました。この全てが本当に邪悪になったのではなく、法が正される中で、三界に押し込んだこれらの悪い生命、悪い要素が働いた作用です。至る所に邪悪の要素があります。それらは全てに付着して、三界とこの世で最も悪いことをしています。法を正すことが二段階に分けて行うのではなく、一回で行ったのであれば、今回の迫害は世界的規模のものになり、まさにヨーロッパの預言者が言ったように、99年大魔王が天から降りてきて、全世界の人々が狂気じみた迫害を感じるのです。今回の邪悪がやってきた時、世界の他の国と民族は99年に起きた法輪功に対する迫害の邪悪さを感じませんでした。法を正すことが二段階に分けて行われたからです。他の民族、世界のもっと多くの人々が大法を修めることは次の段階のことです。皆さんも目にしたと思いますが、今は法を正す時期の大法弟子の修煉であり、全世界更に多くの人々の修煉ではありません。ですから、他の国で中国で起きたような大法弟子への迫害は現れず、他の民族もそれほどの邪悪を感じませんでした。しかし、当時の邪悪の要素があまりに多かったので、大法の学習者にとって、当時どの国にいても学習者は心理的に強い圧力を感じました。

現在はこういう状況ではなくなりました。法を正す全過程で邪悪の要素が大量に消滅され、更に大法弟子が法を実証する中で真相をしっかりと伝えたため、同時に正念を発して自分の空間と各空間にある邪悪を絶えず根絶し、その上皆さんが法を実証する中で行った全ては、皆旧勢力が安排したそれらの邪悪生命と要素を消滅しており、大きな作用を働きました。大法弟子の正念が充分であれば、あなたがこの世に存在し

ていること自体は正しい作用を働いています。ですから、現在の邪悪要素が非常に少なくなったと皆さんは目にしたのではありませんか？ 99年7月20日当時とは既に比べ物にならなくなりました。

しかし、邪悪が少なくなったとはいえ、残った邪悪はやはり非常に邪悪です。今まで私はずっと皆さんに話してきましたが、表面の邪悪であればあるほど力はありませんが、ますます悪くなっています。表面の邪悪が更に悪くなることによって力の不足を補っているため、見た目では邪悪がまだ非常に邪悪のように見えます。しかし、皆さんも目にしましたが、この環境は既に変わっており、邪悪が首魁に直接操られているところと、既に救われることも残されることもできない悪人が悪事を働いているところにとどまっているだけです。現在中国大陸の表面をも維持できなくなり、邪悪の弾圧はひそかに行われ、世の人々に見られないようにされています。実は全ての正の力は皆邪悪を消滅しており、邪悪は恐れてしまい、言い広めることができず、ひそかに弾圧しています。それらがやっている明るみに出せない邪悪なことを多くの人々に知られることを恐れています。それらは中央の幹部、ひいては高い地位の幹部にも知らせないようにしており、内部の人に対しても嘘をついており、迫害を覆い隠しています。それらの一握りの邪悪、最も悪い墮落者が下の悪人を操って邪悪に迫害しているだけです。それらが迫害の中で使った卑劣な手口も極力覆い隠されています。中央の幹部らに対してもそれらは嘘の報告をしており、でっち上げをもって邪悪な迫害を維持しています。現在邪悪は大量に消滅され、悪人が既にはびこることができなくなったと見受けられます。当時邪悪がはびこっていた時、無数の卑しい鬼に支えられ、野蛮に振舞っていましたが、他の人は真相を知っていても何も言えませんでした。99年7月20日の時、邪悪の首魁は気が狂ったかのように叫んだり騒いだりして、思うままにやっていましたが、誰も口を出す勇氣はありませんでした。その時それを支えていた邪悪の要素があまりに多かったので、弾圧に踏み切ったのです。今はその時と違って、旧勢力が按排した全ての要素はますます少なくなり、消滅され、この世に現れると現在の環境も変わったということです。悪人がいくらはびこっても、大勢が既に過ぎ去ってしまいました。

しかし、この間において、皆さんも目にしましたが、どれほどの生命は大法に対して罪を犯したのでしょうか（罪悪が極めて大きい人を除く）？ 彼らに真相が分かったらそれで済むのでしょうか？ それほど簡単なことではありません。しかし、皆さんが真相を伝える中で、その人に真相が分かるようになったら、その人に機会を与えることとなります。もし本当に正念を持つようになったら、彼に贖罪する機会を与えます。人間が何を行っても、償わなければなりません。これが宇宙の理であり、全て

の生命に対しても同じです。当初迫害が始まった時、多くの人が助長したから、当時のあのような邪悪な形勢を作り上げたのではありませんか？ もし人間がこの作用を働かず、誰も動かず、何も言わなければ、当時のあのような邪悪な環境が現れたのでしょうか？ 中国にしても中国以外のところにしても、この過程でこのような作用を働き、この迫害を助長した人、世論や行動においてこの作用を働いた人であれば、償わなければなりません。大法と大法弟子に与えた損失を挽回することができる生命以外、どの生命も逃れることができません。

全宇宙の神は目を大きくして見ており、数え切れないほどの神はこの小さな小さな地球を見ており、全ての生命の全ての思いと念を注視しています。彼らはまばたくことをも惜しむほど、一瞬の間も人間の一念を逃したくはありません。この時期私が皆さんにこれらのことを教えたのは、つまり現在何をやっているのかを更に冷静に、明確に認識しなければならないということです。どんなことを行っても、大法弟子は法を実証することを第一義にしなければなりません。

しかし、真相を伝える時に必ず理性を持って、人間の理念と合っているやり方で伝えるべきです。もし神がかりになって人間の理念から離れ、人間がそれを受け入れることができるかどうかを全く考えていなければ、あなたは破壊の作用を働いており、逆の作用を起こしてしまいます。必ず理性をもって冷静に行ってください。相手に真相を伝える時に相手の受け入れ能力の度合いを考慮しなければなりません。あなたはそれが見え、観察することができます。必ず真相を伝えることをよく行って下さい。ただ伝えるだけではなく、形式的なことになってはなりません。一人に伝えたら、その人に真相が分かるようにしなければなりません。もちろん、全く救うことのできない人もおり、なぜならば、完全に反対の立場を取ってしまったからです。その人に正のものが既になくなり、真相を伝えると、それを受け入れることができません。なぜならば、少しでも受け入れたら、その人自身がその分消滅してしまい、少し受け入れては少し消滅してしまうからです。全部受け入れたら、その人が完全に消滅してしまい、何もなくなります。このような人は他にもなく、邪悪だからです。ですから、救い済度することのできない人もいますが、なんとと言ってもこれはわずかな人だけなのです。

また、次のような人もいます。皆さんが彼を救い済度しようとしても、先ほど私が既にお話したように、その人に機会を与え、その人に真相が分かっても、やはり償わなければならない人がいます。このようになります。これは法理から言っています。しかし、皆さんはこのことを気にしないでください。大法弟子として、皆さんは善を

修めなければならず、他でもなく衆生に慈悲深いのです。それらの生命がどのように償うのかのことは、法が量るのです。残してもいいのかどうか、それを量る法の基準があります。ですから、大法弟子として、できるだけ救済済度すれば良いのです。こういうことです。

なぜ衆生を救済済度するのでしょうか？ 私は既にお話したように、今日の世の中の衆生は歴史上の生命とは違い、歴史上の今までの人々とは違っています。如何なる生命もこの世、この迷いの世の中に入ったら、それは本当に恐ろしいことです。一人の神は、先ほどまで偉大な神に見えたのですが、いったんこの世界、人体に入り、脳が洗われたら、本当に恐ろしいことになり、何も分別することができなくなります。ですから、その人の行動から生命の源を見ることができず、今までの生命との本質的な差異を見ることができません。

私が話そうとすることはこのくらいです。実は皆さんに真相を伝えることを話しただけです。皆さんは私に話したいことがあるので、次の時間に皆さんの質問に回答します。質問があれば、メモして出してください。(拍手) 法会にまだ発表があるので、時間をあまり長くしないようにしましょう。

弟子：北京の学習者は師父にご挨拶を申し上げます。(師：これはもう読み上げません) 法を正すことが終わった時、つまり私たちが圓滿成就する前に、師父にお会いすることができるのでしょうか？ もしできなければ、永遠に残念に思います。このように考えてもよろしいのでしょうか？ 私の願いは叶うのでしょうか？

師：今私に会っているのではありませんか？(皆笑って) 私の真相を見たいと思っ
ているでしょう。(師父が笑って) 良く修煉して下さい。全ての大法弟子は圓滿成就
さえすることができれば、見ることができます。(拍手) 大法弟子は無数の衆生が
手に入れることのできない今日の機縁を持つようになっただけではなく、実は未来永
遠の生命の栄光まで私は既に皆さんのために用意しました。(拍手)

弟子：湖北省武漢の大法弟子は師父にお会いしたいのです。師父にご挨拶を申し上げます。

師：ありがとうございます。(拍手)

弟子：法輪功は良いと言っていますが、学習者をあまり助けられない人がいます。新聞を置いてくれなかったり、または何かの活動の時に大法の名前を出してくれません。このような人が変わらなければ、その結果はどうなるのでしょうか？

師：実は大法を未だにはっきりと認識していない人がいます。特にこれほど邪悪な迫害の中でひどく騙された世の人々がいますが、大法弟子が真相を伝える中でこのような人々が抱えている障碍を解くことができなければ、大法に対してまだ認識している過程にあるのかもしれませんが。すぐに結論を出してはいけません。今はその人が良いとも言えず、悪いとも言えません。多分皆さんが真相を伝える中で行った事はまだ足りないのかもしれませんが。

弟子：「真相が大いに顕れ、天下が茫然となる」をどのように理解すれば良いのでしょうか？

師：実は私は神の言葉「茫」を使いました。宇宙全体の巨大な変化は、皆さん考えてみてください、人類のところで起きています。将来多くの悪人は次の段階で淘汰され、その数は巨大で恐ろしいものです。人間は最初まだ驚く程度ですが、最後になるとショックで呆然とします。町中死者だらけであるのを見て、その時人は一体どういった状態になるのでしょうか？人間が信じていなかったこと、歴史上迷信とされていたことは皆現れてきます。人類が現代科学の観念で認識したこの物質世界は実はそうではないと分かったとき、人間はどういう考えになるのでしょうか？人間が信じていなかったことは全て現れ、このいわゆる物質空間に起きた巨大な変化を目の当たりにし、人間はどうなるのでしょうか？神が本当に存在しており、大法弟子が皆神様であり、大法弟子が言っていた全てが皆本当のことだと人々が分かるようになります。最初はまだそういう考えがありますが、罪を償う苦痛の中で徐々に考えがなくなったかのように、本当にこの世は茫然となるのです。

弟子：私は法輪大法の史記を書いて、師父が法を伝えてからの様々な事績を記録しようとしています。

師：私が思うには、大法弟子がこのことをすることができるのも非常に素晴らしいことです。してもいいのですが、とても時間と精力のかかる仕事です。大法弟子としてやるべき三つのことが皆重要なので、時間を正しく配分してください。

弟子：大法弟子の大法を実証する中での正しい念と正しい行いを書く時、レベルの高

い話にしても良いのでしょうか？ 大法を超えてしまうことがあるのでしょうか？

師：いくらレベルの高い話にしても、大法を超えることはありません。(皆笑って)
法があまりに大きいからです。皆さんが知ることのできることも常人社会で現れることのできることであり、常人社会で大法弟子が人間の行動で法を実証するなどのことは書いても問題ありません。書いた後、皆さんで意見を出し合えば、このことをより良くすることができます。

弟子：私は修煉に関する武俠小説を書いたことがあります。武俠小説の形で超常の理を書いてもよろしいのでしょうか？ どのように描写を更に緻密にすることによって世の人々が知らないうちに修煉に関する正しい考え方を受け入れるようにすることができるのでしょうか？

師：史記を書くなら、やはり厳粛に対処したほうが良いと思います。小説にしても良いのですが、大法全体のことを小説にするのは、やはり小説の重みがそれほど適切ではないと思います。史記にして、更に具体的に書いて、人物に描写を入れてもかまいません。小説を書く時、ある弟子、ある地区、ある出来事を題材にするのであれば、問題はありません。

弟子：大陸の大法弟子を代表して師父にご挨拶を申し上げます。

師：ありがとうございます。(拍手)

弟子：スパイが大法弟子のネット上での安全の不備を利用して迫害しています。しかし、一部の海外の弟子と責任者がこの問題を重要視しておらず、法を実証する仕事と大法弟子に妨害と破壊をもたらしました。師父にご教示願います。

師：このことについて、皆さんは重視すべきだと思います。私たちは人に見られたら困るようなことはありませんが、スパイに妨害されてもいけません。

スパイのことに言及しましたが、この神から見て人類の中で最も汚い職業は長期的に人に見られてはならず、陰でこそこそ動く生活によって、人間の心理を変質させています。実は非常に苦しいのです。彼らがすごい腕を持っているなどと、皆さんは思わないでください。この前台湾のある学習者は上海に行って、捕まえられました。国家安全部のスパイに彼の恐れる心が見え、彼にスパイになるように、と強要しました。

ご存知のように、その卑劣な手口は邪悪がいるところだけで実現することができます。実は私はその手口を随分前から知っています。つまり、誰かを捕まえる前に、その人の状況を全部調べて、あなたの衣食住、好み、親族友人のことまで調べてから、わなを仕掛けて、その人を捕まえてしまいます。そしてまず脅かして、もうすぐ殺されるかも知れないという雰囲気をおあなたに与えます。あなたの恐れる心に目をつけて、取調べをします。あなたが話したくないことがあれば、彼らは既に調べたことを取り出し、取調べの中で彼らは何でも知っているような感覚をおあなたに与えます。ごく限られている人だけが知っていることまで彼らも知っているようにします。恐れる心の作用で、周りの人が皆信頼できない人だと思ってしまう、誰もがスパイであり、信用してはいけないと錯覚してしまいます。邪悪の要求を承諾しなければ、いつでも殺されてしまうような錯覚に陥ります。実際は、あなたの恐怖に対する執着心が利用されたのです。これは策略であり、特にスパイに使われる手口です。実はこの手口は民主国家ではもう使う人はいません。ただ邪悪の政権は、人権を踏みにじるためにこのような邪悪な方法を使っています。民主の国なら、こういうスパイはとっくに法廷に訴えられます。

彼らが何かの騒ぎを起こすことを恐れなくてください。あれこれと心配する必要はありませんが、皆さんは警戒すべきです。皆さんがやろうとすることは邪悪に先手を打たれて破壊されないように考慮すべきです。この問題を考慮すべきです。私たちは人に見られてはいけなくとも、知られたら困るようなこともなく、法律違反のこともありませんが、邪悪に対して悪事を働く機会を与えてはいけません。邪悪に対して、大法弟子がやろうとすることが邪悪に知られてはならず、多くの場合皆さんは本当に気をつけるべきです。あなたがまだやっていないのに、悪人が先手を打って、悪事をしてしまうようなことがあってはいけません。さもなければ、真相を伝え、人々を済度することに支障をきたし、真相を伝え衆生を済度することが更に難しくなってしまいます。ですから、これらのことを重視すべきです。

弟子：香港の市民は二十三条に反対するために、五十万人が町に出てデモを行いました。しかし、中に法輪功の真相をまだ知らない人もいます。彼らが二十三条に反対しただけでは救われるわけではなく、従って私たちは更に真相を伝えるべきなのでしょうが？

師：この香港の全ての人々に否定されている二十三条の悪法は、もともと香港の大法弟子を迫害するためのものであり、香港の民衆を迫害するためのものでもあります。香港でこれほど多くの世の人々が立ち上がって反対しましたが、その人がどういう角

度に立っていても、当時の動機がどうであっても、なんと言ってもこの出来事に対して正しい作用を働きました。香港の市民にとって、彼らは自ら素晴らしい未来を選び、大法に対する態度において既に良い始まりがあったと思います。多くの人が法輪功のことをはっきりと分かっており、それらがこのようにすることに反対しているため、未来において救われ済度されることに良い基礎を築きました。法輪功と迫害の真相をまだはっきりと認識していない人に対して更に真相を伝えるべきです。こういうことです。

弟子：大手会社を新年祭に誘っています。もし真相を伝えずに、ただ中国人と一緒に新年を楽しく過ごしてもらっただけでは、足りないでしょうか？

師：もちろん足りません。大法弟子が今日行った全ては皆人々を救うためです。さもないければ、それを行って一体どういう意味があるのでしょうか？ 正々堂々と真相を伝え、これは大法弟子が行うべきことです。皆さんに教えますが、今日の世の中の全ての生命は皆法のためにやってきたのです。このことをはっきりと認識してほしいければ、真相を伝えてあげてください。これは万能のかぎであり、既に長く封じ込まれた、久しい昔から待っていることを開けるための鍵です。（拍手）

実は私が考えていますが、大法弟子が今日行った全ては大法のために行っているのではなく、師父である私のためでもなく、皆さんは自分自身のために行っているのです。皆さんは自分の世界を圓容させ、自らの威徳を打ちたて、皆さんに必要な生命を集め救っているのです。皆さんは全て自分自身のために行っています。師父である私の角度から言えば、もちろん皆さんにこれを教えなければなりません。なぜならば、あなたの全てを圓容し、あなたを圓滿成就まで導かなければならないからです。あなたに何か必要なものがあれば、それを行うように教えるのです。

また、善を修めることと慈悲の角度から言っても、皆さんはこのようにすべきです。私はただ一つの例を挙げているだけで、新年祭だけではなく、その他の各方面であなたが接触したこと、行うことの中にもこれが含まれています。衆生を救い済度することは第一義のことです。ただ新年祭を盛り上げるためではなく、なおさら常人に一時の喜びを与えるためでもなく、私は皆さんに衆生を救い済度してほしいのです。（拍手）もし高水準で大法の正気が満ち溢れるパーティにすることができれば、このこと自身は衆生を救い済度する作用を働くことができます。これほど素晴らしいことなので、喜んで行うのではありませんか？ これが機会ではありませんか？（拍手）

弟子：大法に対して心から尊敬し、真相を伝えることも身を入れてやっている学習者がいますが、自分自身の個人修煉においていつも過ちを犯しています。本人は非常に悩んでいます。

師：これは十分あり得ることです。大きい法理に対して皆分かりますが、個人の問題については、自分自身に残ったそれらの常人の要素によって執着が引き起こされることがあり、現れることもあります。矛盾しているように見えますが、実は矛盾していません。しかも、執着心が強くなると、非常に良くない状態が現れてきます。大きな問題が現れたら、必ず重視しなければなりません。それが最も危険だからです。

ここで私はもう一つの問題を思い出しました。皆さんは如何なる問題も絶対的に見ないでください。特に中国の邪悪な宣伝の中のそれらのへ理屈に対してはなおさらそうです。たとえば、「他の人に正しく行いなさいと言う前に、まず自分が正しく行わなければならない」ということを宣伝していますが、この話が正しいかどうか皆さん考えてみてください。多くの人はこの話を口実に自分の過ちを隠し、それを直そうとしません。特に自分自身に問題のある人はこれを真理として掴んで放しません。皆さんに教えますが、この話は絶対間違っています。過ちのある人はあなたに正しく行うようにと言ってはいけないのでしょうか？ 過ちのある人は他の人に正しく行うようにと言ってはいけないのでしょうか？ これはどういう論理なのでしょう？ どれほどの人がこのことをよく考えたことがあるのでしょうか？

ご存知のように、イエスは人間には皆罪があるのだと言いました。あなたに罪があるから、子供に正しく行うようにと言えないのでしょうか？ あなたに罪があるから、罪を犯さないようにと他の人に言えないのでしょうか？ これは絶対にでたらめな理屈です。そうではありませんか？ 実は間違いを犯さない人間がいるのでしょうか？ 人間は生まれたら、業を造っています。誰にでも間違いがあります。自分に間違いがあるから他の人に正しく行うようにと言ってはならず、相手に間違いがあるから正しく行うようにと言われてはいけないということではありません。相手が言っていることが正しいかどうかを見るべきです。神はこのような角度で問題を見ます。実は人間もこのように問題を見るべきであり、これが正法の理です。

邪悪の統治はこの理を「他の人に正しく行うようにと言う前に自分がまず正しく行うべきだ」というふうに宣伝してしまいました。これはとても邪悪な話です。表面では、この話がとても理にかなっているように聞こえますが、少しも理にかなっておらず、消極的な作用を働いています。誰が完璧に行うことができるのでしょうか？ 完

壁な人がいるのでしょうか？ 修煉者は最後の一步まで修煉し、まだ人身を完全に脱ぎ捨てていない時にはまだ罪業があり、執着があるのです。しかし、そこまで修煉したら、既にはるかに常人を超えています。もしこの理にしたがってやれば、誰も他の人に正しく行うようにと薦めることができなくなり、この社会はおしまいになってしまうのではありませんか？

大法弟子に執着があり、まだ取り除かれていない常人の心、正しく行うことができないところがありますが、この大法弟子の全てが良くなく、この生命がもうだめだということではなく、この大法弟子の修煉が全てだめでもありません。彼の各方面は既に良く修煉できています。彼に間違いがあるのは、まだ残っている執着が必ず曝け出され、それによって自分の足りないところに気づくようにするからです。ですから、間違いが現れました。現れたからこそ修めることができます。執着を隠して表さなければ、それを取り除きにくくなります。ひいては本人さえ気づくことができません。それなら、本当に取り除きにくくなります。

弟子：大法弟子が作ったマスコミはどのように真相を伝えればいいのか、特に真相を伝えることにおいて、中国国内との合作の将来性について師父からお話をいただきたいと思います。

師：現在私たちが置かれている状況はほぼこういう状況です。中国大陸の大法弟子が現在作っているマスコミは安全面において、彼らにとってはまだ十分ではありません。しかし、大陸の学習者はチラシやVCDを配ったりしており、彼らは多くのことをとても良く行いました。中国大陸以外で大法弟子が作ったマスコミはできるだけ迫害の真相を中国人の目に入るようにし、全中国の人民が真相を見ることができるようにし、しかも必ず中国人が真相を知るようにしなければなりません！（拍手）彼らを救済しなければならず、同時に中国人が今回の迫害の中で何をしてきたのか、このまま続ければ、中国人がどのような恐ろしい局面を迎えることになるのか、ということを見せなければなりません。

弟子：個人の執着をいつも完全に取り除くことができず、あせっていますが、良く行うことができません。

師：法を多く勉強し、多く勉強してください。（師が笑って）何かの特効薬があるわけではありません。「薬を飲んで、執着心無くしましょう」（皆笑って）実は大法の威力は特効薬よりも効き目があります。もちろん、皆さんは今とても忙しくして

おり、これもやらなければならず、あれもやらなければなりません。多くの仕事があり、家事や仕事、社会の仕事もありますが、自分を修めないといけないので、法の勉強をやはりすべきです。

弟子：この佳節に際して、全ての大法弟子からの敬意と師父からいただいた恩に対する感謝の意をどうぞお受け取りください。弟子は必ず良く行い、師父の苦勞を少なくし、師父が喜んで安心できるようにいたします。

師：ありがとうございます。（拍手）大法弟子がまだ迫害されており、私を喜ばせようとしても、私は喜びを感じることができません。多くの大法弟子はこの時中国の邪悪な労働強制所で迫害を受けています。皆さんの気持ちはありがたく頂戴します。

弟子：社会で有名な大法弟子たちは、たとえばある地区の担当者または大法の真相をたくさん書いた弟子ですが、地域、華僑界と江告訴大連盟の活動の中で、社会の一員という身分から、領土の問題など世の中の出来事に対する見解と理解、分析を述べてもよろしいでしょうか？ 常人からの誤解を招かないようにするには、どのように行うべきでしょうか？

師：大法弟子として、修煉と今日法を実証することは第一義のことです。大法弟子は必ず法を実証しなければなりません。真相をしっかりと伝え、衆生を救い済度することが第一義のことです。

社会の民主運動家、六四事件の人達は邪悪の暴政に対して絶えず批判しています。人権と信仰の自由などは彼らも提唱しています。彼らのこの方面に対する批判は法輪功への迫害を暴露することによりいくらかの正しい作用を働きました。この面から見れば、彼らは私たちとこの点において同じなので、この角度から話したらどうかと思う学習者がいます。実は皆さんは冷静になるべきです。皆さんが行っていることは大法、大法を実証することと関係があるかどうかを、冷静に分析すべきです。関係があれば、やればいいのですが、なければやらないほうが良いのです。永遠に方向を見失わないようにしてください。

皆さんは師父のことをご存知でしょうか？ この宇宙はとてつもなく歴大であり、計り知れないほどの衆生と天体があります。一念を巡らせるだけで、地上に大きな作用を及ぼしてしまう生命がたくさんいます。多くの生命、旧勢力の要素と古い生命はみな法を正すことを左右し、妨害したいと思いますが、それらは私を変えることがで

きません。私はこの道をまっすぐに歩んできたので（拍手）、それらの如何なるものも私を妨害することができません。方法を使い尽くしても何の手ごたえもありませんでした。人間の所でこの妨害、あの妨害がありますが、何の作用もありませんでした。

「あなたに多くの妙策があっても、私には私なりのやり方がある。」ということを入間も言っているのではありませんか？ つまり、自分が何をやっているのかを大法弟子は必ず分かっているなければならず、法を実証することと関係があるかどうか、頭をはっきりとさせるべきです。邪悪を暴露することは、私たちが衆生を救い済度するために行うことです。大法弟子が今日行っていることと関係があれば、それを行ってください。もし関係がなければ、それを行わないでください。事を行う中で方向がずれたことによって生じた執着は学習者を害してしまいます。大法と関係のあること、法を実証し衆生を救い済度することと関係のあることであれば、それを行ってください。このように行い続ければ、道がますます広くなります。必ずそうなります。くれぐれも常人の政治闘争に入らないでください。

弟子：シンガポールとマレーシアの大法弟子が師父にご挨拶を申し上げます。

師：ありがとうございます。（拍手）

弟子：思想業力が多い時、いつでもどこでも正念を発して良いのでしょうか？

師：自分の情況に基づいて行ってください。実は現れてきたいくらかの考えは妨害であり、この場合、正念を発してそれを取り除くことができます。また、自分の執着によって生じた考えもあれば、世間で形成された観念もあります。こういう場合、正念を発しても一回でそれを取り除くことができないので、時々また現れることがあります。正念を発してもまた出てきたり、繰り返しそうなります。しかし、あなたがそれを取り除くことを行っていないのではなく、行ったが作用はなかったということでもありません。毎回一部分しか取り除くことができないということです。旧勢力が按排したこれらのものは更に高次元から下りてきた生命要素によって無数の部分に分割されたため、正念を発する時にその中の一つか二つを取り除くことしかできず、他はまだ残っています。

このことだけではなく、三界の中でそれらは多くの悪事を働き、自分自身が手に入りたいことを多く按排しました。しかも、これらのことの多くに変異が生じました。長い年月の中で当時それらを行った旧勢力、いわゆる神がそれを解決しようとしても、

解決することができず、法を正さなければそれを解決することができません。宇宙の中の多くのことはこういう状況です。法を正すことの全体の洪大な勢いがやってこなければ、解決するのが難しいのです。しかし、思想業力の場合、正念を發せば、それを完全に取り除くことができます。

弟子：真相を伝える小冊子の中に邪に悟ってしまった人の写真と物語がありますが、どのように扱うべきでしょうか？

師：邪に悟った人は迫害を受けた中で強制的にこのようにさせられたのです。釈放されたら、しばらく経つと分かるようになります。大法と大法弟子に取り返しのつかない損失を造った人の場合、別の状況になります。

弟子：最近新しい学習者が煉功しに来ていますが、法の勉強においてどのように彼らを導き、どのように皆と一緒に法を勉強することができるようにするのでしょうか？

師：皆さんと一緒に煉功したり、学法したりすることを薦めるのは問題ありません。新しい学習者にすぐに大法弟子としてやるべきことをしてもらうのは、あまり急がないほうがいいと思います。多くの新しい学習者は次の段階の学習者になるからです。しかし、現在続々と入ってきた人の中で今の段階の学習者になる人もいます。皆さんが真相を伝えることによって、既にこの鍵を開け、未来の修煉者が既に入ってきています。この二通りの状況が見られます。

弟子：マスコミの仕事の中で、私たちは偽の国内の安定と、その邪悪な本質を隠すための粉飾した中共邪党による報道を多く暴露しました。これらの報道と衆生を救済度し、法を実証することとの関係について、ご教示をいただきたいと思います。

師：実は、それが平和を粉飾する目的は法輪功を迫害していることの本質を覆い隠すためであり、迫害が起きていないという虚像を人々に与えており、裏で歴史上、最大で最も悪く汚く邪悪な迫害を行っています。これらのことに対して正面から暴露することができますが、他の事に関して、法を実証することと関係あるかどうかを見るべきです。関係があれば行っても良いのです。中国大陸以外の弟子は媒体で邪悪の本質を暴露するのも、世の人々に歴史上の邪悪な本性を知ってもらうためです。邪悪が平和を粉飾することによって罪悪のやり口を隠していることを暴露し、邪悪が裏でやった邪悪な汚いことを暴露している学習者はいます。

弟子：広範にわたって中国人に真相を伝えるときに、常人との意思疎通を図るために、常人の好みに合ったものを利用していますが、常人の全てに変異が起きたため、中にどうしても変異したものがあります。しかし、大法弟子が行った全ては未来の人々に残すためのものであり、どのようにこの関係に対処するのでしょうか？

師：衆生を救済済度するために、智慧を使って真相を伝える時この問題はありません。未来の人に残したのは、大法弟子の法を正す精神と正された道です。真相を伝える時に如何なる言い方をしても、その目的は本当に世の人々にこの迫害を分かってもらうところにあります。信仰と人権が踏みにじられているなどのことは人々が皆理解することができます。いくつかの例を引用したことにいたっては、それも人を救うためです。人類の現在の各種の変異した文化を使って真相を伝えるのであれば、慎重にやらなければなりません。なぜならば、相手が何に執着しているのかあなたには分かりません。彼が元々これらのことに執着しており、あなたは時間をかけて彼が執着していることをはっきりと説明することができないため、良くない効果を引き起こすかもしれません。できるだけ常人のほかの問題とかかわらないようにしてください。

もう一つの角度から言えば、人類の全ては既にこのようになり、全てに変異が起きました。変異しただけではなく、魔性まで強くなっています。人類社会の全てが腐敗したため、法を正すことがなければ、人類の歴史は今日まで続くことができません。多くの宇宙の災難がこのために回避されました。人類はなぜ原子爆弾を発明したのでしょうか？ 地上の如何なるものも神が人類を制御してできたのです。如何なる出来事にも目的があります。これらのことは過ぎ去ったのですが、人類の如何なることも偶然に存在することではありません。法を正すことと無関係のことなら、真相を伝える時にできるだけそれにコメントしないようにしてください。また、真相を高いレベルまで説明しないでください。このようにしたら、良くない作用があります。人類の如何なるものもだめになりました。これが事実です。

弟子：今修煉をはじめたばかりの新しい弟子が真相を伝える時に邪悪を鎮めることができるのでしょうか？

師：できます。なぜならば、私が全体から邪悪の要素を根絶すると同時に、人類と大穹の全ての空間、三界の中の全ての空間の中にみな大法の要素が充満しているからです。これは新しい宇宙のことを言っているだけではありません。ある生命が正しく作用さえすれば、大法の要素はその生命に力を与えるのです。この生命は今から福報を得ることができます。私たちは既にたくさんのこのような事例を知っているのではあ

りませんか？ つまり、新しい学習者が真相を伝える時、大法の要素、師父の法身とそれらの無条件に協力してくれた正神が皆彼を助け、正しい作用をしてくれます。これは間違いのないことです。しかし、前提としては、新しい学習者が必ず自ら行いたいという気持ちがあるということです。

弟子：法を正す時間が少ない中で、法を正すことと子供に修煉させることとの関係をどのように扱うべきなのでしょうか？

師：これらの具体的なことは自分でそれを正しく扱うべきです。

弟子：常人の状態に符合することをどのように理解するのでしょうか？

師：生活においてできるだけ常人の状態に符合して修煉してください。大法修煉の中で戒律はなく、生活は基本的に常人と最大限に一致し、形式上も常人の社会状態に符合していればいいのです。こういうことです。同時に修煉者でもあります。このことは私は既に何回も何回も話したことがあり、どのように行うべきかを多くの説法の中で説きました。

弟子：多くの方は大法と迫害の真相を聞いたこともなく、迫害に参加したこともありませんが、彼らに対して真相を伝えることの意義について、ご教示願います。

師：大法と迫害を聞いたことのない人がいますが、このような人に真相を伝えることにも重大な意義があります。世の人々が長い年月の中でずっと封じ込められているため、生命は長い輪廻転生の中で待っているこの出来事をすぐに認識することができません。皆さんは真相を伝える中で、世界でこの出来事があるということを相手に教えただけではなく、大法、大法とは何かも教えました。このようにすることによって、長く封じ込められている機縁を開くことができ、ずっと待っているものがやってきたことが本人に分かるようになります。

弟子：しばらくの間良く行っていませんでしたが、今からしっかり行えば、まだ間に合うのでしょうか？

師：法を正すことがこの世にまだやってきていなければ、まだ機会があります。間に合うかどうかはそれは皆さん次第です。時間を大切にすることのできる人もいれば、そうではない人もいます。大きな罪を犯しましたが、それを償いたくなく、今までの

ように不真面目であれば、難しくなります。ですから、このことがまだ終わらなければ、まだ機会があります。(拍手)

弟子：最近多くの仕事を担当している学習者が疲労を感じ、体力と状態は前ほどよくありませんが、どのようにこの状況を突破することができるのでしょうか？

師：これは二つの面から話さなければなりません。一つは学習者が非常に大変で、本当に大変で、積極的に多くのことを担当しました。こういう場合、人手を増やして、またはこの問題を解決する方法を考えることです。これは一つです。もう一つは、多くの大法弟子は確かに疲労を感じていますが、法の勉強と修煉をおろそかにしており、たくさん仕事をしましたが、自らを修めていません。このため、疲労を感じ、疲れや困難を感じるのです。実は私はずっと言っていますが、修煉は大法の仕事をすることに影響しないのです。これは間違いのないことです。なぜならば、煉功は疲労を解消し、身体を速やかに回復させる最も良い方法だからです。

弟子：旧勢力に淘汰された全ての衆生を大法は復活させ、新しい宇宙に再び戻らせることができるのでしょうか？

師：旧勢力に淘汰された衆生のことを話すと、とても大きいことになります。旧勢力の妨害がなければ、歴史上の全ての衆生にいくら罪があっても、私は彼らの罪業を減することができます。多くの衆生の中に歴史上複雑な恩讐がありますが、どの次元の生命であっても、上下で交差し、縦横に入り混じっている、乱れている根の深い怨み、複雑な関係を私は全部解決することができます。私には何でもできます。つまり、私は全宇宙の生命を救うことができます。しかし、旧勢力はどうしても一部の生命を淘汰しようとしています。

もちろん、私には旧勢力が思いつかない方法があります。私は既に影も形もなくなるまで消滅された生命、ひいては長い歳月の中で既に他の生物と植物になってその上更に各種の変化が起きた生命であっても、私はそれを見つけることができます。なぜならば、私は全ての生命の最もミクロ的な要素を超えることができるので、それを見つけることができるからです(拍手)。ひいては私は永遠にも二度と現れることのない生命の元々の物質と要素、その生命を構成した元々の要素、その全てを構成した要素を見つけて元のままに戻すことができます。また、私はある生命が大法に罪を犯したその部分、その過程と歴史を消すことができます。更に、その生命がその歴史を経過したことがないように再生させることもできます。私には何でもできますが、勝手

に行くことではありません。その原因を見るのです。師父はなんと言っても、未来の宇宙と未来の素晴らしさ、未来の衆生のために考えなければなりません。(拍手)

弟子：旧勢力は先史のとき、師父が法を正すことを束縛するための契約を師父と結んだのでしょうか？ もしあれば、全ての契約を破棄し、全てが主佛の按排に従うべきです。

師：皆さんに教えますが、実は歴史上旧勢力は私の分身を利用して常人の中で転生するとき多くのことを行いました。私がこの世で転生するたびに、それらはこの機会を利用して操って、隙に乗じました。その時は法を伝える時期ではなく、完全に人間の状態で人間を完備させていたので、それらは自ら手に入れたいことを私に押し付けました。それは全く私が行いたいことではありませんが、世の中でそれが起きました。このようなことは各時期にたくさんありました。私の分身がこの世に転生したら、それらが左右しにきました。ですから、それらは歴史上の多くのことを私がやったことにし、私のせいにしていきます。もちろん、私はそれを認めません。歴史があまりに長いのであって、長い年月の中でそれらは絶えずこのように行っています。状況があまりに複雑であり、解決することもできなかつたので、法を正すことの中でどうなるかを見ることにしました。ですから、私が法を正しはじめた時、それは自らが手に入れたかったことではないと旧勢力が気づき、対抗し始め、その現れはますます突出したものになりました。

この数十年の法を伝える中で、皆さんが見たのは表面上の妨害だけであり、実は他の空間では、それは人々を驚愕させるもので、邪悪極まりないことです。もちろん、これらのことは大法弟子の個人の修煉と関係ありません。修煉して向上し、執着心を取り除くことは皆さん自身のことです。旧勢力の私に対する妨害は歴史の過程と未来と関わりを持つことです。旧勢力の中の生命に対して、私はそれらを救うために絶えず法理からそれらに教えています。それを聞き入れ、全てが間違っていると分かった生命もいますが、それらには解決することができません。なぜならば、歴史上の出来事が既に起こり、それらの按排したそれらの具体的なことが皆変異したので、旧勢力にはなおさら解決することができません。

先ほどお話したこのことは、(師父が笑って) 多くの人が考えています。私が言っているのは歴史のそれらの大きな出来事であり、大法弟子に及ぶことはありません。

弟子：大法の仕事をする時、法を勉強しなければなりません、仕事もしなければな

りません。法を勉強する時にいつも電話がかかってくるのですが、非常に悩んでいます。自分の法の勉強ばかり気にすれば、それは利己心の現れなのではないでしょうか？

師：法の勉強の時は法の勉強だけをすればいいのであって、誰にも邪魔されてはいけません。あなたの修煉が良くできていなければ、あなたが行った全てに威徳がありません。常人にいくらかの利益、お金を与え、大法のことをやるように頼んだら、その人はやるのでしょうか？ もちろんやります。それなら常人が大法のことを行うことになるのではありませんか？ どこに意義があるのでしょうか？ 根本的な目的は何でしょうか？ ですから、大法弟子は自分の修煉が良くなければなりません。威徳を打ち立てると同時に、法を実証し、これは大法弟子が行うことであり、しかもどのように行うべきなのか、どのように良く行うことができるのかを分かるようになります。

しかし、重要な事がなく、他の人に大きな影響がないという前提の下で、他のことをまず置いておいて、法を勉強するのが正しいのです。例えば、法の勉強ができるだけ邪魔されないように、電話を「留守電」に設定したりすることができます。(皆笑って)

弟子：真相を伝えるために多くのことを行うべきですが、いくら行っても完全に行うことができず、行うこともきりがありません。どのようにしたら良いのでしょうか？

師：皆さんは時間の緊迫性が分かるようになったと思います。行うべきことが多くあります。できるだけ良く段取りしてください。皆さんも行っていますので、お互いに協調して行えば、早くなると思います。

弟子：世界法輪大法ラジオ局の全部の大法弟子が師父にご挨拶を申し上げます。

師：ありがとうございます。(拍手)

弟子：法の勉強のため、師父の新しい経文を録音するようになるといつも他の弟子から頼まれています。師父の声がないので、法を聞く役割を果たすことができるのでしょうか？

師：以前、私の説法のテープを翻訳した時にこのことについて説いたことがあります。つまり師父の声があれば大丈夫ということです。しかし、私が書いた多くの文章の中

に私の声はありません。大法弟子が法を実証するこの特殊な時期にはこのようにしても良いと思います。人類の将来の時は、これはしてはいけません。

大法弟子が法を実証する中で、多くのことに関して、私は皆さんに大いに便宜を図りました。多くのことは実は修煉の中でしてはいけないことですが、特殊の状況下でそれを認めました。中に皆さんが真相を伝えるいくらかの形式も含まれていますが、それも衆生を救い済度するためなので、このようにしました。間違っはけません。もし個人修煉のことであれば、多くのことは許されておらず、してはいけないことです。

弟子：私は7月20日以降に法を得ましたが、最近大きな魔難に遭いました。それは師父が設けてくださった関なのか、それとも自分の執着心によるものなのか、見極めることができません。師父の慈悲深い済度に大変申し訳なく思っています。

師：修煉の中で考えてすぐには分からないことは確かにあります。多くの執着または原因はすぐに気づくことのできるものではありません。ですから、時に難しいと思う時があります。しかし、逆から言えば、修煉者がどんなことも考えればすぐ分かるようになり、どんな関もすぐ乗り越えることができれば、これは楽すぎることはありませんか？（笑い）確かに楽すぎます。私は個人修煉に対して言っているのです。

もちろん、旧勢力の妨害が入っていることもあります。弟子が乗り越えるべきではない関、ひいては非常に解決しにくいことを押し付けています。しかも、法を実証し衆生を救い済度するという歴史の過程の中で起きたことであり、皆妨害の作用を働いています。確かにこういうことがあります。ですから、大法弟子として、どのように行うべきなのでしょう？ 私が思うには、できるだけ正しく行い、法を多く勉強し、大法弟子としてやるべきことを多くしてください。もし皆さんが正しく行い、良く行うことができれば、多くのことは容易に解決されます。問題を解決するためにそれを解決してはならず、そうすれば新しい執着が生じやすいからです。

弟子：中国の古代の科学文化と歴史の角度から真相を伝える時に、どのように判断すべきなのでしょう？

師：皆さんは歴史上の例を挙げて、各学科の事実を引用しても問題ありません。しかし、適切な例を挙げなければなりません。適切でなければ、説得力が弱まります。ちょうど良い例を出すべきです。

弟子：私と私の兄弟は英語の作家です。歴史上の誰かを伝統の見本として選んで良いのでしょうか？ シェクスピアや古代のギリシャの作家は非常に影響力がありますので、彼らと似たような書き方で書いてもよろしいのでしょうか？ このようにしたら私たちは自分のレベルを高く設定したことになるのでしょうか？

師：自分のレベルを低く設定してしまいました。（皆笑って）あなたは大法弟子であり、かつて前例はなく、衆生がなりたくてもなれない人です。未来の生命に新しいやり方を残さなければなりません、それは高いものではないですか？ 歴史人物の正しい一面を参考にしても良いのですが、大法弟子はやはり自分の道を歩んだほうが良いと思います。そうではありませんか？ これこそ開拓なのです。（拍手）

弟子：弟子が政治に参加しないということについてもう一回ご説明をいただけないでしょうか？ 例えば、邪悪の首魁を審判するなどの行為についてです。

師：この邪悪は大法弟子を迫害する首魁です。この邪悪の首魁を訴えるのは政治に参加することではありません。多くの大法弟子を迫害し死なせたので、償ってもらわなければならないでしょうか？ 暴露すべきではありませんか？ 今回の邪悪を制止すべきではありませんか？

三界の中の全ての衆生はこの法のために来ており、この法のために造られたのです。つまり、中に人類社会の各種の形式、もちろん現在の法律と人類の他の存在形式を含む三界の全ての形式も含まれています。この全ては法によって造られた以上、なぜ法を実証する中で大法のために用いることができないのでしょうか？ もちろんできます。しかし私たちは中の正しいもの、良いもの、正しく作用するものを選ぶべきです。私たちは選択して使用しています。これは更に大きい面から言っています。

具体的なところから言えば、私たちは政治に参加していません。人類の良し悪し、中国人がどういう制度を選択するのは、それは人間のことです。私と大法弟子は今までどういう制度と生活を選択すべきか、今日多くの民主運動家が主張している民主社会をも含めて、大法弟子は参加しないように、と私は言っています。大法弟子はただ今回の迫害を暴露しており、この迫害を制止しているだけです。このようにしてはいけないのでしょうか？ 家族が迫害を受けて亡くなり、白黒をはっきりさせてもらわなければならないのではありませんか？ そういう時に政治に参加したと言われますが、これは正しいのでしょうか？ 正しくはありません。

私李洪志がこの大法を伝えだしたその日から、私と学習者は政治に参加したことがなく、全く関心がありませんでした。しかし、私たちの大法は如何なる制度であれ、社会、異なる全ての社会制度下にいる民族と国にメリットがあります。あの最も理性のない最も邪悪で、古今東西の全世界の最もばかばかしいものだけがこの愚かなことを仕出かし、最も善良で社会にとっても最も有益な人々を迫害しています。それらの目には権力しかなく、国民にとってメリットがあるかどうかなど全く気にしていません。社会に何かの動きがあったら、すぐに自分の権力が脅かされているかどうかを考え、生きていて大変つらいのです。権力の維持のために大変つらい思いをしています！ そのために悪事を働いています、この権力はもうお終いになると思います。
(拍手)

真相を伝える中ででっち上げの宣伝に騙された人は皆さんが政治に参加していますが、これは邪悪の害を受けたからそう言ったのです。彼らにそうではないことを教え、はっきりと認識してもらい、分かるようにしなければなりません。でなければ、人間は自らの今後の道を断ち切ることになります。もちろん、人間が何を選ぶのかは本人自身のことです。

弟子：最近何人かの弟子が病の方式で旧勢力に命を奪われました。彼らは圓滿成就することができるのでしょうか？

師：このことは私が既に何回も説きました。多くの学習者もこれがどういうことなのか分かるようになりました。修煉の角度から言えば、人間は常人を脱皮したければ、人間の全ての執着を取り除かなければなりません。ですから、旧勢力は隙に乗じてそれらの全てを按排しました。例えば、ある学習者に何日何時に病気の状態が現れ、ある学習者が何日何時にこの世を去ることなどを按排しました。旧勢力はそれらが選んだ人が大法を学ぶことを按排し、彼らが大法を修めているように見え、しかも非常に精進している弟子もいますが、実はそれらが旧勢力に按排され、大法に入ってきて、時が来たらそういうことをしてしまいます。旧勢力はこれらの生命を淘汰しようとしているので、大法を妨害することによって罪を犯し、そういう作用を働かせています。もちろん、旧勢力も淘汰しようとしている生命を選んでやったのです。私の大法弟子の中にも歴史上それらに利用され、騙された人がいます。例えば、何日何時にこのようにしてはじめて、圓滿成就することができると言われており、そういう状況もあります。ですから、真の中に偽があり、偽の中に真がある、という状況になってしまいました。誰が邪魔しに来たのか、誰が大法弟子なのか、すぐに見極めることができま

せん。

しかし、私は何も見ておらず、旧勢力に按排された大法弟子であれ、騙された大法弟子であれ、私の法を読み、私の弟子になったら、すなわち大法の徒であり、旧勢力の按排を全く認めなければ、私はあなたに対して責任を持ちます。しかし、これらのことの現れは本当に大法弟子にいくらかの妨害をもたらしました。これらの学習者は旧勢力の按排を認めないと分かっていますが、それを振り切ることができません。このような生命も私が救います。(拍手) もちろん、騙された大法弟子は言うまでもなく、必ず圓滿成就します。しかし、この期間中に確かに良くない作用を働き、しかも理性のない人であれば、話はまた別になります。

実は多くの大法弟子は、旧勢力に按排された弟子であれ、騙された弟子であれ、この時期において、良く行うことができました。大法に更に大きな損失をもたらすことなく、しかもその家族も各方面において良く行うことができました。

実は中国大陸で迫害を受け亡くなった大法弟子の多くはそれらに騙された弟子や、按排された弟子です。皆歴史のいつかに自らそれを同意したので、やりにくいのです。しかも、迫害を受けた時、頭がはっきりしておらず、理性的になることもできず、自分が大法弟子であることを忘れ、師父を思い出すこともできず、この全ては人間が人間に対する迫害のように思ってしまいました。更に、歴史上旧勢力にこのように按排され、それを否定することもできなかったのもので、これでどうしたら良いのでしょうか？ ですから、多くのことは思っているほど簡単ではなく、修煉は非常に厳粛なことであり、法を正すことはただ事ではないのです。

弟子：中国領事館は華僑団体を脅迫したり、利益で惑わしたりして、華僑の愛国心を利用して法輪功を恨むことを煽っています。どのように対処すべきでしょうか？

師：真相を伝えることは万能の鍵です。金銭と利益で人を丸め込んでいますが、それが皆常人のものであり、一時一世のことです。しかし、あなたが相手に与えるのは生命の永遠にかかわることで、しかも世の中の生命は皆このことのために世の中で存在しているのです。皆さんがやっていることを軽視しないでください。真相を本当にはっきりと伝えることができれば、状況は変わります。それでもだめであれば、それが人間の未来に対する選択です。

真相を伝えるようにと皆さんに教えたその時から今日まで、この歴史的な過程は長

くはありませんが、既に大きな変化がありました。真相を伝えるようにと皆さんに教えた当初、多くの要素が阻んでいました。今でもありますが、既に非常に少なくなりました。つまり、真相をはっきりと伝える中で、妨害の要素はますます少なくなり、世の人々に分からせる要素がますます多くなりました。以前、真相を伝えた時良い効果を得られなかった時がありますが、それは外来の邪悪の要素に妨害されたからです。今は変わりました。私たちが慈悲深いので、やはり方法を考えて世の人を救ってください。更に多くの世の人々が真相を知るようにしてください。

大法弟子が行った全てのことは偉大なことであり、しかも非常に重要なことです。真相を伝えるとき、皆さんが話した言葉、発したエネルギーは邪悪を鎮め、根絶する作用を働いています。皆さんは世の中の生命が残るか消滅されるのかを決める鍵です。あなたの言った話しが非常に純正であれば、本当にすぐに世の人々の考えの最も深いところまで届き、直ちに世の人々を分からせることができます。

弟子：真相を伝えるためのアニメを製作したとき、いくつかの動画アニメのソフトの背後に良くない要素があると気づき、それを使用した学習者も具合が悪くなりました。これらのソフトを使用しないほうが良いのでしょうか？

師：確かに良くないものがあります。実は皆さんがそれらを使用する時、すなわちそれらの生命を選択しており、救済度しています。中に善解されるものもあり、淘汰、転換されてしまうものもあります。他の角度から言えば、あなたがそれらを使用しているのはすなわちその物体に対する慈悲です。変異したものは必ず正に正され、または淘汰されてしまいます。これはすなわち一つの生命を救ったことになります。しかし、非常に良くないものもありますので、選択的に使用すべきです。

弟子：これほど長く修煉して、はじめて自分の根本的な執着とは何かが分かるようになりました。それはすなわち自分自身に対する執着です。

師：その通りです。はっきり言えば、これは即ち過去の生命の基本的な要素です。今まで皆さんには皆この問題がありました。多くの方は本当にこれを認識していません。皆さんが全体的に向上するにつれ、この面の問題はそれほど目立たなくなります。

弟子：今まで大法を実証する中で、大法を実証することを行いましたが、今考えれば、それは利己的な心からであり、自らを実証する基点に立っていたのです。私が聞いたのは、なぜこのことに今になってやっと気づいたのかということです。

師：法を実証することも修煉であり、修煉の過程は即ち自分の足りないところに絶えず気づき、それを取り除く過程です。ただ多くの最も根本的な執着は早く認識することができればできるほど良いのです。それを認識したこと自体は向上です。それを取り除き、または克服し、弱めることによって最後は完全にそれを取り除くのです。この過程はつまり絶えず向上しているのであって、生命の根本的な変化でもあります。

弟子：私はオーストラリアのある地区の責任者です。私は法の勉強において精進しておらず、名利に執着し、妨害を受けています。私は負い目を感じています。法を正す弟子として、私は向上しなければなりません。私の地区は法の勉強が良くできている弟子に責任者になってもらったほうが良いのでしょうか？

師：認識することができるということはつまり、とても大きな進歩です。修煉は他でもなくこういうことです。あなたは絶えず自分の足りないところを認識しているとき、つまり向上しているのです。しかし、どのように自らを固めるのか、これこそこれからの道を正しく歩むようにするために最も肝心なことです。

ついでにあることについてお話します。中国大陸では、迫害が起きる前に、確かに多くの学習者は各種の心から法を勉強し、煉功していたのです。他の人が習っているのを見て自分も習い、病気を治すことができるのを見て自分も練習します。法の勉強にほとんど身を入れておらず、修煉に対する厳粛な認識などはなおさらであり、正念もなかったのです。時間が長くたって、ひいては数年経ってもやはりこのままでした。多くの学習者は他の人を見るきらいがあり、「あの人が練習して良くなったから私もやります。あの人の病気が治らなかったので私はやめます」という状況です。更に恐ろしいのは、多くの人々が責任者を見ています。責任者が行ったように行い、責任者が良く行ったら、彼も良くなりますが、責任者が正しく行うことができなければ、彼はそれも見習います。修煉の中で私は、全ての大法弟子が独立して自分の道を正しく歩み、各自の威徳を築き上げることによって真に自分を圓滿成就に向かわせ、それぞれの天地を司る王になるようにと教えています。ですから、必ず自分の道を歩み、自分で法を良く勉強し、自らの正念を樹立しなければなりません。

実は私は責任者を選ぶ時、最も次元の高い人を選んでいません。私から見れば、衆生はみな同じです。私は衆生に対して、この人があの人より能力があるとか、あの人がこの人より良いなどの考えはありません。この人がグループの仕事をした経験と熱意があるかどうかだけを見ています。私はこれしか考えていません。

この人が良く修煉ができ、他の人より優れているから、彼を責任者にするという考えはありません。常人が修煉の始まりから圓滿成就にいたるまで、この過程で修煉がどうなるか、圓滿成就できるかどうかは修煉者自身ができるかどうかによります。

実は多くの普通の大法弟子は目立たずに非常に良く修煉しています。基礎をしっかり築いた弟子もいれば、根基の非常に良い弟子も、各方面が非常に優れている弟子もいます。しかし事務的なことをお願いすると、うまくこなすことができないかもしれません。ですから、私は皆さんの世話をし、仕事をこなすことができ、皆さんのために時間と精力を使っても良いと思っている弟子を責任者にしました。以前私はこのことについて何回も言いました。確かに非常に良く行った責任者がいますが、そうでない責任者もいます。迫害が始まった当初、長期的に法を学んでいなかったため、邪悪に妥協してしまい、良くない作用を果たしてしまった責任者がいます。いつも他の人の行いを見て、それと同じように行動する学習者は特に責任者がこのようになったのを見て、「あら、彼はなぜだめになったのか。彼が修煉をやめたのなら、私もやめる」と思いました。私は他でもなく、学習者のこれらの心を取り除こうとしています。私は学習者が修煉によって自分の正念が出るようにしています。あなたの修煉の目的は誰そのの站长、責任者、会長のためではなく、誰もが自らを修煉しなければなりません。

今回の迫害の中で、多くのこのような学習者が成熟し、冷静になり、理性的になりました。これほど痛い教訓を経てやっと分かったのです！ 実は以前私は何回も話したことがあります。彼らは自らを修煉する事を重視しませんでした。修煉には見本はありません。他の人の修煉を見てはならず、他の人ばかりを見てはいけません。他の人が良くなれば、私も良くなり、他の人がだめになったら、私もだめになる、という具合で、自分の考えは全くありません。このような学習者を私はどのように導いて修煉させることができるのでしょうか？ 本当にあなたが修煉しているのでしょうか？ 考えはいつも似て非なるものであり、話も本心から言ったものではありません。修煉は他の人を見てはならず、自分で着実に修めるしかありません。どのように修めるのでしょうか？ 法を多く勉強し、他の人を見てはいけないのです。神を見ていればもちろん大丈夫ですが、神はここで修煉していません。ですから、ここで修煉しているのは皆人間であり、この人体があるから、修煉してここから出ることができます。世の人々の全てを取り除いていない限り、あなたはまだ修煉者です。表面の全てが変化し終わったら、あなたはやっと完全に人間を離れることとなります。しかし、修煉の過程で、自分の意識をはっきりさせていなければならず、自分の足りないところを取り除き、良くないところを抑制し一掃し、絶えず上を目指す意識がなければならず、

これが即ち修煉なのです。

弟子：師父が美術創作に対して説法されてから、絵描きの基本的な技能を学びにいった弟子がいます。これは真相を伝えることに影響があるのでしょうか？

師：影響があります。皆さんに教えますが、絵描きの基本的な技能は練習して一二年でできるものではなく、かなり時間がかかるので、多くの人が子どもの時から練習しているのです。それらの造詣のある人は、皆十数年、数十年の練習でやっと成功したのです。今から絵描きを始めると言って、作品を書いたら、それを展覧会に出すわけにはいきません。（皆笑って）私は主に絵描きの基本的な技能を持っている、これを専門とする大法弟子、つまりこの分野において造詣のある弟子に対して説いたのです。彼らに対して説いたのです。彼らが現代意識に影響された観念を変え、人類に正しいものを提供できるようにするためです。これはその場でできることではありません。なぜならば、これはすぐにできるものではなく、さらに私は彼らにレベルの高い作品を出してもらいたいからです。彫刻にしても、絵画にしても、基本的な技能を身に付けることはもっとも基本的なことです。すべての画家にとって創造が最大の問題であり、これは相当難しいことです。人物の心理、表情をありありと彫刻したり描いたりすることは、基本的な技能があればできることではありません。正統な美術は神が人間に伝えた技能です。

弟子：さらに多くの学習者が表に出て、一緒に法を正すことをしっかり行うために、どのようにしたら良いのでしょうか？

師：皆さんが真相をはっきりと伝えることをするように、心から行ってください。

弟子：三魂七魄とは何でしょうか？ 修煉とはどういう関係なのでしょうか？

師：これは人間のものであり、いま私はやはり言わないほうが良いのです。もちろん、私は個別な場合で、少ない人に対して人類に関するいくらかのことを説いたことがありますが、人類に対してあまり影響はありません。次の段階において人類のことに関わる時、私は三界内のことをお話します。人間の歴史の真実、三界が存在する目的、民族の源と人種、人間の由来、人体の本当の構成要素、世の中の全てが何のために存在するのかなどのことについてお話します。

私が皆さんに説いた主元神、副元神などは、大法を説く時に触れたことです。人類の三界の中の法について、私はまだ本当に皆さんに話したことはありません。ですから、これは皆将来語るべきです。法を正すことと、法がこの世を正すことの二つの段階があるので、未来の段階はつまり人間のこのところで法を正し、三界、人類、星と地球、生命と人体の関係、人類社会が一步一步発展してきたその目的などを全面的にお話します。これが人類の歴史の真実です。さらに神が人間を造ったこと等々もお話します。全ての人類のことについてお話するだけでなく、人間が信じていなかった全ても現れてきます。

弟子：旧い法理と新しい法理の間に、重なる部分はあるのでしょうか？

師：両者の間には大きな差異があります。根本的な問題は重なっていません。以前の基点は「自分」のためですが、大法が造った全ては「自分」に執着しません。いくらかの具体的な問題に対しての認識は同じです。善と悪の具体的な現れは基本的に同じですが、多くのものに変化がありました。生命は将来ますます美しくなります。

弟子：学習者が作った新聞は販売してもよろしいのでしょうか？

師：もちろん良いですよ。もし皆さんが作った新聞を読む人が多くいれば、試しに一部を販売してみてください。実は皆さんが作った新聞は既に世界で最も大きい華人新聞の枠を作りました（拍手）。アメリカのとても小さな都市にもあります。私は小さな町でも見かけました。ほかの中国語新聞はまったくそこまでカバーすることができず、そこまで行くことができません。皆さんもきっとこの新聞をますます良くすることでしょう。条件が整えば、ますます良性的に循環していきます。

弟子：ラジオは真相を伝えるマスコミとして、法を正すことに協力し、真相を伝えることの中でどのようにさらに良い作用を発揮するのでしょうか？

師：大法弟子が作ったほかのマスコミと同じように、互いに参考にしあって、相手の長所を取って自分の短所を補えば良いのです。皆良く行うことができます。少なくとも、ニュースとほかの素材において共有することができるので、これはほかのマスコミにはないことです。まずやってみてください。真相を伝え邪悪の迫害を暴露し、さらに多くの衆生を救い済度するため、このラジオを更に多くの人に知ってもらい、ひいては大陸の中国人にまで知ってもらうことができれば、これはとても良いことです。

弟子：主人は修煉していませんが、多くの法会に参加し、大法のためにいくらかのことをしたこともあります。しかし、悪いことをしてしまいました。改めたいのですが、彼を苦しめる一種の力があって、彼は家に留まることができず、私たちは離婚しました。このような人はまだ救われる可能性があるのでしょうか？

師：今回の迫害の中で、皆さんに教えますが、中国人の多くは大法に対して罪を犯しました。ですから、真相をしっかりと伝える中で皆さんが彼らを救わなければ、彼らは本当に救われなくなります。皆さんは真相を伝える中で彼らに機会を与えているのではありませんか？ まだ彼らを救済しているのではありませんか？ もちろん、中の多くの方は当初皆さんの親族でした。やってみてください。本当にだめだったら、また考えます。そのときは別に扱います。そのときは、私に聞かなくても、あなたは彼らが救われるかどうか分かるようになります。

弟子：映画の脚本を書くとき、直接真相を伝える脚本を書くのか、それとも常人のやり方にして、中に真相を伝える内容を入れるのでしょうか？ どちらのほうが良いのでしょうか？

師：これは角度の違いの問題で、どちらも大丈夫です。しかし、どの形式で書いても、あなたが大法弟子なので、どのように法を実証すべきなのかを知っており、正しく把握することができます。ですから、どちらのやり方で書いても良いと私は言いました。

弟子：テレビで現代科学を教えるのは正しいのでしょうか？

師：皆さんに教えますが、師父が科学という問題を話すとき、実は私は科学を否定しているのではなく、それは宇宙の中の一種の造化です。実は、長い歳月を経て造りだされたものが宇宙を破壊するものでなく、宇宙を繁栄させるものであれば、私はみな大事にしています。生命の過程は単一的なものではありません。私はただ科学が人類に適していないということだけを言っただけです。今科学の欠陥が現れてきたのではありませんか？

皆さんは既に目にしましたが、人間は科学に振り回されます。神を信じなくなりました。しかし、人間は神によって造りだされたのです。神によって造られただけではなく、神が人間を造った目的は、法を正すのと同時に高次元から来た生命が救済されるようにするためです。また、人類は未来の宇宙において本当に欠かせない次元と

なり、それによって宇宙全体と関連します。人類にこれほど巨大な作用、巨大な背景がありますが、科学は人間の基本的な正念を破壊しています。

生命が広範にわたって科学を使用しているとき、宇宙で確かに非常に良くない作用をしています。宇宙は一つの循環しているものであり、全ての物質の要素は循環しているのです。罪のある生命が消滅される過程の中で、その生命の罪を滅し、消滅して、消滅して、さらに消滅して、決して生命のない死亡物質まで消滅したとき、彼らはまた一つ一つ次元が高まり、利用されるのです。宇宙が一つの循環しているものであるため、物質が変異したら、とても厄介なことになります。変異した物質は低次元の生命に吸収されますが、高次元の生命は低次元に来て問題を解決することができません。低次元の生命が解決できない物質は再利用された後、循環の中で再び昇華します。物質が始まったとき既にあった変異が昇華した後、その上の次元の生命にもそれを完全に解決することができません。昇華の中で、いずれの次元もこれを完全に解決することができず、しかも多くの物質にこの状況が起きたら、広範囲の宇宙が変異してしまいます。

ご存知のように、現在の鉄鋼は多くの金属によって合成されているため、再び精錬される時、金属を純正なものにすることができなくなります。しかも、どの技術もそれを完全に分離することができません。ご存知のように、土壌にいったん化学肥料を入れたら、その後化学肥料を使わないと、何も植えることができず、まったく成長することができません。化学肥料を使ったことのある種の場合、毎回毎回化学肥料を使わなければなりません。変異した後の種は化学肥料を使わなければ、この種自身もだめになります。しかし、ご存知のように、化学肥料は合成された化学的なものによって構成されています。

物質の循環にはさまざまな形式があります。ここで物質の最も簡単な循環方式をお話します。植物、動物と人体の物質は皆粒子によって構成されており、粒子と粒子の間に隙間があるのです。拡大してみると、隙間は非常に大きいのです。しかも、これらの隙間から匂いを放っています。この匂いそのものは実はさらにミクロ的なところで見ると、それも顆粒によって構成されている場です。ですから、全ての動植物は皆ミクロ的な物質を発しています。これらのものは絶えず上の次元に利用されています。世の人々と生物に必要な水と空気、物質、各種要素が最初から始まった汚染によって変異してしまったため、上の次元が利用しているのは根本から変異してしまったものです。

皆さんにお話したことがあります。宇宙人の科学技術の作用のもとで、人間の次元の体はある粒子の次元において、既に完全に宇宙人に制御されており、完全にほかの星の要素に構成されたのです。中に数字、機械構造、電子部品などが含まれています。これらのものも絶えず変異の作用を働いています。科学によってもたらされた広範にわたる現代工業によって、宇宙の多くの低次元の空間が影響されています。法を正す中で、ある相当大きい宇宙の次元までこれらのものに汚染されたことに私は気づきました。この変異したものは、法を正す中で強く抵抗しています。

皆さん考えてみてください、これらの変異したものはまたミクロ的なものまで昇華し、神に吸収されたら、神まで変異してしまうのではありませんか？ 神の世界まで変異してしまうのではありませんか？ 実際に既にこういう状況が現れました。皆さん考えてみてください、これは恐ろしいことではありませんか？ ですから、科学は人類に適しておらず、あるごく小さい範囲内の生命に適切に利用されるならばよいと私は言いました。

皆さんに教えますが、現在の空気は既に誰も歴史上のかつての純度に戻すことができなくなるまで、汚染されました。言うまでもなく、千年前の空気とはなおさら比べることができません。人間まで変異しましたので、この状況に慣れてしまいました。水はいかなる方法を使っても最も浄らかな状態になるまで浄化できない程度にまで汚染されました。なぜならば、水も循環しているものだからです。

以前皆さんにお話したことがあります。水はほかでもなく水であり、海水はもう一種の物質であり、淡水と同じ物質ではありません。海水から淡水を抽出することができ、これは石から金属を抽出することができるのと同じことであり、それは抽出されたものです。淡水は通常低いところまで流れ、さらに低いところに行くと、海にたどり着きます。海が必ず陸地より低いところに位置しているため、水は海に流れていきます。しかし、海に入っても、淡水は散ってしまうことはありません。水の粒子が海水の中の物質粒子より小さいので、水はこれらの粒子を通り抜けて流れてしまい、人間の経絡のようにまた循環して戻ってきます。ですから、これはなぜ川が何万年、何十万年止まることなく流れているのかの原因です。川の水は地下水の供給と溶けた氷水で流れていると言っている人がいます。皆さんはご存知のように、川はなぜそれほど大きいのでしょうか？ 何万年も止まることなく大量に流れています。揚子江やアメリカの有名な大河のような大きな川の場合、流れても尽きることもない大量の水があります。氷山の水があるからと言っていますが、氷山から始まっていない川もあります。実は水は循環しているのです。流れた後の循環の過程は浄化の過程でもあ

り、再び浄化されます。しかし、あまりにひどく汚染され、しかも水を汚染したのは人類の正常な物質要素ではなく、宇宙人が作った現代科学による工業であるため、元の純度まで浄化することができません。ですから、変異してしまうと、浄化することができなくなると言っています。

川を堰き止めダムを作って発電する人がおり、人類の電気の使用を改善し、エネルギーの問題も解決することができると思っています。実は川を真中から切ったことになり、人間や生命のように川も生命であり、いかなる物体にも命があるのではありませんか？ 人間を真中で切ったらどうなるのでしょうか？ 川があまりに大きく、その時間と人間の時間が違うので、すぐにはその変化を見ることはできません。しかし、川は死んでおり、ゆっくりと死んでいきます。川の死亡過程は人間の死亡過程より長く、数十年数百年かかります。山河や自然を改造すると言いだした人がいるのではありませんか？ 自然を改造することは即ち自然を破壊することであり、山河を改造することは即ち山河を破壊することです。神が造った全てに順序があり、神から見た天地と人間から見た天地は違い、神が全ての均衡を非常に良く按排しています。人間はそれを善く利用するしかなく、破壊してはいけません。人類に起きた多くの自然災害は科学の実質的な破壊によってもたらされたのです。人類が科学をいわゆる発展させるために、際限なく資源の開発を行っていますが、全ては破壊されつつあります。

ご存知のように、前世紀のヨーロッパとアメリカの工業は非常に発達しており、特に鉄鋼業と科学工業による汚染は当時、非常に深刻なものでした。しかし、ヨーロッパ人とアメリカ人は早く目覚め、自然の生態への保護を強化したため、数十年後、環境が本当によくなりました。ですから、アメリカの川の水は非常に清らかで、湖の水も汚染されてはいません。人間が目覚めたから、本当にこの作用を働くことができました。しかし、以前の純度に戻るのはもう難しいのです。科学が人類にもたらす危害に、今科学者も気づいたのではありませんか？ しかし、これも人間が目にするのができ、察することができることに過ぎません。

ご存知でしょうか？ 科学のミクロ的な領域での発展はさらに恐ろしいことです。さらにミクロ的な粒子を研究し、さらにミクロ的な粒子を分裂させ、それによってできたミクロ的な粒子が連鎖的に分裂してやまず、絶えず爆裂し分裂しています。現在の科学も恐れ始めています。このように連続して爆裂していけば、それほど時間が経たないうちに、地球全体がなくなるまで解体されてしまいます。このことをしている科学者は誰もこの爆裂を阻止することができません。現在、このように連続して分裂し、解体しています。編物をやっている中国人なら皆分かりますが、このような解体

は現在編物を崩しつつけるようであり、一環一環、崩れています。科学が人類にもたらしたものはこれだけではありません。恐ろしくはありませんか？

人類はコンピューターをとてつても良いものと思ひ、なんと便利なものだらうと思つています。私はコンピューターに反対しているのではなく、科学に反対しているのでもありません。私はそれが人類に適していないと言つています。ほかの生命がある限られた範囲でそれを使うことができますが、なぜならばこれは宇宙の造化の一つだからです。現在、コンピューターがなければ算数もできない程愚かになつた人もおり、コンピューターに保存されたものに頼り、自分で物事を考えることすらできなくなつた人もいます。道理を言つてあげても、コンピューターが何を言つているのかを見てみると言つて、聞こうとしません。説明してあげても聞こうとしません。人類は既にコンピューターに完全に頼つており、コンピューターがなければ、何もできません。しかも、コンピューターから出された指示を全部受け入れ、コンピューターを操作する人までコンピューターの言い成りになつています。コンピューターの指示に本当に従つている人もいます。これで、コンピューターは人間を制御しているのではありませんか？ コンピューターがさらに発達すると、人間のコンピューターに対する依存や、コンピューターからの指示がさらに強いものとなり、人間は本当にコンピューターに制御されてしまいます。もし造つたロボットが完璧で人体のようになると、ロボットがロボットを作ることができるようになると、人類は壊滅してしまいます。なぜならば、ロボットは絶えずロボットを作り人類を淘汰するのです。非常に恐ろしく聞こえますが、法を正すことが人類の限度のない発展を抑制していなければ、今日既にこういう状態になつてしまいます。現在多くの役所の人はいちかのことを扱ふとき、人の説明を聞こうとせず、コンピューターの言う通りに行つています。既にこの程度まで来ていますが、恐ろしいことではありませんか？ コンピューターの言うことを聞いており、人間がコンピューターの言うとおりにならなければならない、中に保存されている資料を信用しなければならず、なぜならば、コンピューターの方が正しいということになつているからです。しかし、人間は複雑なものであり、動いており変化しているものです。人間の考えも変化しており、人間が善と悪、良いと悪いという不安定な変化の中にいます。さらに、この世の出来事も安定しておらず、人間はある結論で概括できる変化しない物質でもありません。これは科学が人類にもたらした危害です。

もちろん、現在皆これを学んでおり、これを教えなければ何を教えるのでしょうか？ このようにするしかありません。今の歴史時期にこのように行えばよいのであつて、間違いとは言えません。なぜならば、どのように全てを正すかについては、それは未来に行われることだからです。

弟子：一部のフィリピン人が『転法輪』をタガログ語に翻訳してもらいたいと思っています。本を読むだけで、まだ修煉者になっていない人は翻訳を手伝ってもよろしいでしょうか？

師：翻訳の手伝いをしても良いのですが、大法弟子が主導的に行わなければなりません。なぜならば、常人は法を理解することができません。これは間違いのないことであり、皆さんくれぐれもこれに気をつけるべきです。

弟子：私たちはこれまでずっと努めて常人に真相を伝えており、大法を迫害することがなぜ歴史上最も邪悪なものなのかを説明し、これが全世界的な迫害であり、人間性、善良と良知に対する迫害であり、人間の肉体の生命を殺害するだけではないと説明しています。師父からさらにご説明をいただけないでしょうか？

師：確かにそうです。それらが破壊しているのは人類の道徳が腐敗墮落した後に残ったわずかな良知です。これだけではありません。もしこの法が人を救うことができなければ、人類にはもう望みはありません。

弟子：真相をはっきり伝えることは全ての問題を解決することの鍵であり、全面的に、しかも深く伝えなければならないので、法輪功学習者が受けた大量虐殺を記録する資料館を作りたいと思っています。政府幹部、中国に投資した人、学生とマスコミに真相を深く認識してもらうことによって、広く衆生を救い済度します。

師：とてもいいアイデアです。大法弟子が受けた迫害と、法を実証するときの実物を展示し、衆生を救い済度し、真相を伝える場所にすることができます。

弟子：慈悲は情が取り除かれて生じるものですが、威徳はどのように生じるのでしょうか？

師：法を実証するという道を正しく歩み、修煉の中であなた自身からの束縛を破り、自分の執着を放下し、正念の中で衆生を救い済度し、正念をもって直面している全てに臨むことができれば、これが即ち威徳です。（拍手）

弟子：法を正す過程で、最初良く行うことができましたが、その後良く行うことができず、正念がなくなりました。

師：それなら良く行うようにしてください。皆さんが常人社会で生きており、常人社会の各種の現実からの誘惑は、修煉の中でまだ取り除かれていない執着心にとって、引っかけやすいものです。正しく制御できないとき、問題が起こります。既に認識したら、再びよく行うようにしてください。

弟子：真相を伝えるときに、大法弟子がなぜそれほどひどい虐待を受けても妥協しないのかと聞かれたことがあります。常人の次元で答えにくいのですが、どのようにこの質問にさらに正しく答えることができるのでしょうか？

師：なぜクリスチャンが歴史上三百年も迫害されても、自分の信仰を変えなかったのかと逆に質問すればよいのです。実は常人にこの質問を答えるのは大した事ではありません。中国の歴史上、死んでも屈服しなかった人が多くいたのではありませんか？ 実は現代人の道徳観念がだめになり、人間としての根本的なことまで理解できなくなりました。中国の古代の多くの人々が一つの約束のために命を失っても、約束を変えようとしませんでした。今日の人々はなぜこれを理解できないのでしょうか？ 今日の人々が変異したからです。皆さんはいくらかの例を出して、各角度から説明すればよいのです。説明しても良いのです。

弟子：国内の迫害に関する真相を大体知っており、同情もしており、邪悪をも譴責している海外の中国人がいますが、彼らは大法を信じておらず、師父が人間を済度しに来ていることを信じておらず、かえって師父に失礼な事を言いました。

師：それなら、師父が人を済度していることを言わなければ良いのです。迫害だけを言えばよいのです。次元の高い話をしないように注意してください。聞かれたら、相手がそれを理解できれば、言っても良いのですが、このときも次元の高い話をしないでください。

人間は修煉者を理解することができず、二言三言ではっきり説明できることでもないので、かえって良くない結果をもたらしてしまいます。次元の高い話をしないでください。あなたが修煉の中で認識した法理を全部相手に言ってしまえば、相手が驚いてしまいます。あなたは長年の修煉でやっとここまで認識したのですが、すぐに相手にあなたと同じ次元に達してほしいと思っているのでしょうか？ これはありえないことです。あなたは一步一步、修めて向上してきたのであって、相手は常人であり、真相を聞いているだけで、しかも害された人なのです。ですから、くれぐれも焦らな

いでください。

弟子：明慧学校に成人の西洋人の中国語教室があり、『転法輪』を教材にして中国語を教えたいのですが、法を解釈してはいけないので、これはよろしいでしょうか？ありがとうございます。

師：『法輪功』を教えていいです。最初は『法輪功』を教えてよいのです。私は以前どのように教えるのかについて話したことがあります。これはあなた自身の認識であり、または現在このくらいのことを認識しただけで、中にさらに多くの高い内かんがあり、私が言ったことは絶対的ではない、というように説明すればよいのです。このことを話して、学生に教えてよいのです。

実は多くの人々が『法輪功』の改訂版を学んだとき、説明する必要はありませんでした。読み上げてあげれば分かるようになりました。なぜならば、法が作用しているからです。もしいくつかの言葉そのものがまだ分からなければ、その言葉を説明すればよいのです。このときも、「これが現代の文法による認識であり、大法の中にほかの内かんがある。」と加えるべきです。このように話せば問題はありません。識字のことに関しては、漢字そのものを説明すればよいのです。

弟子：子どもにさらに真相を伝えることに参与してもらうには、どのようにしたら良いのでしょうか？ 次の段階で法を得る人は、法がこの世を正す時に法を得るのか、それとも法がこの世を正した後に法を得るのでしょうか？

師：次の段階で法を得る人が既に入ってきています。実はこれは法がこの世を正す時のことですが、今すでに始まっています。なぜならば、既にかなり近づいたからです。大法弟子が真相をはっきり伝える中で非常に良い作用を働いたとき、未来の修煉者が入ってくることがあります。子どもが真相を伝えることは条件によって行えばよいのです。大人に対する要求でやってはいけません。

弟子：経済界に対して真相を伝えるのも非常に重要なことであると悟った学習者がいます。なぜならば、現在の邪悪は…。

師：そうですね。このことは私がずっと前から考えていました。世の人々、多くの大手会社の社長は、皆さんに教えますが、前世のときお金を儲けて大法のために使うと願いを立てたのです。今は迷ってしまい、大法のために使っていないだけでなく、邪

悪にお金を費やしました。

今回旧勢力はこのような人が法を得られないようにしています。なぜならば、多額のお金があれば、今回の迫害が存在しなくなると旧勢力が思っているからです。いくつかの大きな財閥が後ろで大法弟子を支持していれば、中国の邪悪はまだ邪悪でいられるのでしょうか？ 中国人に真相を知られないように旧勢力がしていますが、皆さんがいくつかの衛星を作って打ち上げれば、毎日中国に向かって番組を流すことができます。旧勢力の阻害は確かに幾人かを壊滅してしまいました。しかも、罪業の非常に重い人さえいます。

これらのことは行って良いのです。皆さんの力が及ぶ範囲内で行ってください。時に彼らとなかなか会うことができません。

弟子：全体の協調と圓容に異議があるとき、如何なることでもまず自分の原因を探すべきなのではないでしょうか？

師：異議があるとき、自分に執着があるかどうかを考えるべきです。皆正念を抱いていれば、完全に溶け合って協調することができ、どんな問題もすぐに解決されます。異議があって、議論して対峙しているとき、自分を見るべきだと思わなければなりません。大法の仕事のために言い争っているのだと言って、自分の執着を覆い隠そうとする学習者がいます。大法の仕事をする時、あなたの負けず嫌いの心、自我を顕示する心、自分の感情を大事に思う心、自分の威信が挑戦されるなどの常人の心も中に混じっています。

弟子：今まで法輪功を聞いたことのない人に、中国での迫害を言う必要はあるのでしょうか？

師：もちろん必要があります。遅かれ早かれ耳にすることになるからです。

弟子：協力が良くなれば、一緒に何かをする時、非常に力強くなると師父がおっしゃったことがあります。もし大法弟子全体において、私たちの力がまだ凝集していないと言ってもよろしいのでしょうか？

師：大法の全体において力がまだ凝集していない？ これは正しくはありません。この言い方は間違っています。実は法は誰にも破壊されないものです。衆生よ、私が私

の法を知っている以外、如何なる生命と神も法を知らないのです。当初、幾つかの神は法のごく僅かな一部の形式を見た以外、全宇宙に大法の真実の体現を本当に知っている生命はいません。皆さんが見た法輪は功の現れであり、本当に法を定めている法輪は、私以外に、如何なる生命も見ることができません。それは威力無辺なものです。
(拍手)

この法は新しい宇宙において全ての中に遍く分布しており、全ての中に真善忍が浸透しています。大法弟子の協調性の度合いは大法に対する認識と個人の修煉のことです。法は完全で整っており、誰も法を触ることも見ることもできず、如何なる生命も法を動かすことができません。私は大法と大法が造った全てをもって迅速で猛烈に前進しており、全宇宙、最もミクロ的で最大の神および全てに向かって進んでいます。同時に、最も表面と最も下の次元および世間にも向かって絶えず進んでいます。誰も阻むことができず、それは阻まれることのない勢いです。極めて迅速で猛烈に宇宙の中の全てを行っています。

弟子：私に罪がありますが、功績をもって過ちを補いたいと思っておりますが、よろしいでしょうか？

師：よろしいです。

弟子：広州の大法弟子、長春、北京、湖北、天津、オーストラリア、江蘇、浙江、杭州、山東、煙台、邢台、邯鄲、吉林市、広東湛江、蘭州、イギリスの学習者、トロントの学習者全員、明慧学校の子供弟子全員、カンザス、江西萍郷、上海、開安、日本の大法弟子、シンカンブッシュ州の弟子、遼寧鳳城の大法弟子、広西、スコットランドの大法弟子全員、新疆石河子、北米の大法弟子、宜昌の大法弟子、カナダバンクーバーの大法弟子、濰坊、牡丹江、峨眉山の大法弟子、衡陽の大法弟子全員、山西、ロシアの大法弟子は師父にご挨拶を申し上げます。

師：ありがとうございます。(拍手)

弟子：最近、私たちの活動の中でいつも常人と各党派を取材しています。彼らは大法を支持しているからです。しかし、このようにしたら私たちは政治的な傾きがあると多くの人に思われてしまいます。

師：どの政党が支持してくれても問題はないと思います。なぜならば、彼らはまず人

間であり、救われ済度される衆生だからです。下心のある人に何かを言われるのではないかと心配する必要はありません。大法は人の心を見ており、団体を見ているわけではありません。誰が大法を支持しても良いのです。大法に対して正しく作用することさえできれば、誰でも良いのです。これは即ち彼らが未来を選択することです。(拍手)しかし、私たちは政治的な目的はなく、団体そのものも見ておらず、人の心のみを見えています。

弟子：電話を掛ける過程で、大陸の何人かの古い学習者は迫害を恐れており、話したくないようで、または話題を変えてしまいます。ある古い学習者はアメリカに来て、名利に執着しているため、最近修煉をやめた様子です。いつも積極的に常人と一緒に行動しており、大法の活動にもあまり参加していません。師父にお伺いしたいのですが、彼らはまだ修煉できるのでしょうか？

師：修煉するかどうかは本人次第です。全てその人自身で決めることです。本人が修煉したければ修煉すれば良いのですが、しなくてはならないでも良いのです。皆さんは善を勧めるしかありません。私はこの法を彼に教え、修煉の中で彼を救い済度することもできますが、本人が救われたいかどうかは、人間自分自身が決めることです。私は従来から如何なる人にも強制しておらず、大法弟子も同じです。私がこのことをしているのは全て慈悲によるものであり、完全に衆生のためにと思っているからです。

今日元々これほど長くお話したくはありませんでしたが、やはり長く話してしまいました。(長時間の拍手) 実は多くの話は私が細かく言う必要もありません。大法弟子は皆比較的成熟し、多くのことについて認識できるようになりました。時に皆さんが書いた文章を読んで、本当に感心しています。皆さんのことを誇りに思っています。大法弟子は本当に成熟したと思います。私が説いた法は皆さんが真に理解することができ、しかも深く理解することができました。これは正念の中で法理に則った理解です。現在真相を伝える中で多くの弟子は本当に良く行い、しかも非常にしっかりと行っており、目立たずに行っています。正念が固まっており理性的で、苦を畏れていません。大法弟子の未来の全ては皆、皆さんが行っている三つのことから生じ、真相を伝えることはなおさらそうです。私は皆さんが行った全てを見て、本当に素晴らしい、本当に成熟し、本当に成熟したと思っています。

現在私が何も話さなかったり、または話を少なくしているのは目的があるのです。つまり、皆さんが法を実証する中で本当に自分の道を拓き、自分の全てと威徳を正しく悟ることができるようにするためです。実は、今日言った最も重要なことは衆生を

救済度することであり、このことを中心に話しており、皆さんに更に明確に認識してもらいたいのです。多くのことについてどのように行うべきかを皆さんが皆知っているので、私はこれ以上具体的に話すと、皆さんが未来を創造する機会、自分の道を自分で歩む機会を奪ってしまうので、多くの時私は多くを話したくはありません。私は皆さんを静かに見えています。皆さんが本当にますます成熟したのだと私に分かっています。

中国大陸の大法弟子も同じであり、迫害の中でますます強くなり、理性的に冷静になっています。冷静になることは最も重要です。どのように行うべきかが分かっており、それだけではなく、多くのことを非常に良く行っています。真に修煉する弟子は皆法を実証しなければならず、非常に多くの弟子は一貫して良く行っています。報道されているのはひどく迫害されている事例ばかりです。実は多くの弟子は非常に良く行っています。本人は何も言わず、目立たずにやっています。たくさんの素晴らしいことがありました。多くの大法弟子が非常に素晴らしく行っており、将来皆さんはそれを知るようになります。

これらを見て、私は本当に喜ばしく思っています。(拍手) 私の大法弟子は私を失望させませんでした。以前なら、私がやったことは無駄にならなかったと言うのですが、今このように言うてはいけません。無駄にならなかっただけの問題ではなく、大法弟子が確かに試練の中で成熟しつつ、真に法を実証し、本当に神に向かっていく最後の道のりを歩んでいるのです。(熱烈な拍手)